

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事を原則とする。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事を原則とする。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事が望ましい。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事が望ましい。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	民法入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修 * , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の学科専門科目として位置付けられている。

科目の概要

民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールであり、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律である。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としている。この民法の基礎的知識の習得と、法的思考力の身につけることを目的とする。民法には、契約や不法行為を取り扱う債権法のほか、物権・担保物権、親族法・相続法が含まれるが、この科目ではとりわけ、家を借りる、洋服を買う、誕生日プレゼントをするといった身近な行為に関係の深い民法の債権法を中心に取扱う。

科目の目的

身近な「契約」という行為がどのような法的な意味内容をもつものかを中心に学び、民法・債権法の基本的な理解を図ることを目的とする。また、知識取得のみならず、事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します

内容

1	債権法のガイダンス及び契約の成立
2	契約の効力： 同時履行の抗弁権、危険負担、第三者のためにする契約
3	契約の解除： 解除の要件・効果、消費者保護とクーリングオフ
4	契約各論(1)： 贈与契約 - 意義・成立・効力・特種の贈与
5	契約各論(2)： 売買契約 - 意義・成立・効力
6	契約各論(3)： 売買契約 - 買戻しについて
7	契約各論(4)： 交換・消費貸借・使用貸借
8	契約各論(5)： 賃貸借契約の意義・期間・効力
9	契約各論(6)： 雇用・委任・その他の典型契約
10	契約以外の債権発生原因(1)： 事務管理・不当利得
11	契約以外の債権発生原因(2)： 不法行為
12	債権の効力： 強制執行・債務不履行・損害賠償・受領遅滞
13	多数当事者の債権関係： 連帯債務・保証債務
14	債権の消滅： 弁済・代物弁済・相殺他
15	総括

評価

提出物・受講態度(40点)、ペーパーテスト(60点)を、総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

授業外学習

【事前予習】授業中に指示した資料の該当箇所を事前に読む。

【事後学修】事例をよく復習し、理解を定着させる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考書】

『スタートライン債権法』[第5版] 池田真朗（日本評論社）

『デイリー六法』（三省堂） その他の六法でも可

科目名	法学入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

法学の入門的な位置付けとなります。

科目の概要：

社会に生きる人は、日常、意識するしないを問わず、国民として、家族の一員として、個人として、また消費者として様々な立場で法と関わっています。この「法」とは一体どのようなものなのでしょうか。また、法的なトラブルに遭遇しないためには法律を知る必要があるという一方、法的なトラブルに遭遇してしまったときにはどうすればよいかという問題も生じます。そのために、法をめぐり、どのような法律や制度が存在するのかについて学びます。また主要な法律を概観します。

科目の目的：

法学入門として基礎的な知識の理解を図るとともに、現代社会に特徴的な法的問題への理解を深めることを目的とします。

内容

1	法とは何か	
2	法曹	法律家の種類と仕事
3	法曹	法曹養成制度
4	法の種類	
5	紛争解決と法	裁判制度・代替的紛争解決（ADR）
6	紛争解決と法	裁判員制度の現状と課題
7	国家と法：	憲法
8	日常生活と契約：	民法（契約法）
9	日常生活とアクシデント：	民法、消費者法ほか
10	家族関係と法：	民法（家族法）
11	労働と法：	労働法
12	企業と法：	会社法
13	現代社会と法	
14	国際社会と法	
15	総括	

評価

レポート等提出物・授業態度(40%)・ペーパーテスト(60%)を総合して評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】テキストの指示された箇所について各自事前に目を通す。

【事後学修】課題を完成させ、理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

『法の世界へ[第6版]』 池田真朗・犬伏由子他著 （有斐閣アルマ）

【参考書】

『デイリー六法』（三省堂）

科目名	社会学入門		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」の2年次配当選択科目である。中学校教諭一種免許状 (社会) および高等学校教諭一種免許状 (公民) の教職課程「教科に関する科目」のうち、「社会学、経済学」の必修科目である。

科目の概要

人間は一人では生きていけない。人々の共同生活においては、どのような分業があり、どのような人間関係がつけられているのか。それぞれの共同生活には、そのような文化が伝わっているのか。また、それらがどのように持続または変化して、どのような問題が生じているのか、現代社会を特徴づける14のテーマを取り上げ、官庁統計や民間統計のデータを社会学の基本概念を使って分析することで、考察を深める。

学修目標

社会学の基本概念を習得する。社会的に現象を読み解く洞察力を培う。

内容

1	人口減少社会
2	高齢社会
3	ジェンダー
4	グローバリゼーション
5	情報化社会
6	農業・農村
7	余暇・レジャー
8	労働と賃金
9	消費生活
10	子どもと若者
11	食育
12	スポーツと文化
13	災害とコミュニティ
14	環境と技術
15	まとめ

評価

授業時の提出物70点 (5点×14回)、学期末のレポート30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】新聞記事に目を通して、「生活」に関する社会調査および社会統計のデータをスクラップしておく。

【事後学修】授業で学修した知識に即して、スクラップした新聞記事を整理して、学期末のレポート提出に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に内閣府、経済産業省、農林水産省、国土交通省、厚生労働省、消費者庁、文部科学省、環境省などの白書および官庁統計・世論調査、主要な民間統計などを紹介する。

【参考図書】

竹内 洋（2008）『社会学の名著30』ちくま新書。

日本社会学会社会学事典刊行委員会編（2010）『社会学事典』丸善出版。

科目名	消費生活と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の学科専門科目 (選択必修) である。

科目の概要

私たちは、通信販売で洋服を買う、映画を見る、旅行会社でツアーに申し込む、電車にのるといったあらゆる日常生活の場面で私たちは誰もが「消費者」として生活している。つまり「事業者」から物やサービスを購入し、利用しているのである。しかし、販売方法も多様化し、社会も複雑化している状況の下、大量生産・大量販売といった機能が事業者により一方的に担われている。そして、消費者と事業者には情報力・経済力等の格差が存在する。そのため、様々な消費者トラブルが発生する可能性が常にある。そこで、消費者トラブルの発生しやすい場面や現代的な課題を取り扱い、紛争解決の仕組みを検証する。

科目の目標

日常の消費生活において消費者を事業者から守る法律とその意義、各種悪徳商法の対策と法、トラブル発生後の消費者救済の仕組みについて学ぶ。また、賢い消費者としての必要な知識を身につけ、消費者トラブルと法の機能と限界について説明できるようにする。また、知識取得のみならず、消費者問題に関連する新聞記事などを利用し文章読解能力・文章表現力を身につけ、また事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

内容

1	【総論】消費者法 ガイダンス、消費者と事業者、民法
2	【総論】消費者契約法 悪徳商法と消費者
3	【総論】特定商取引法 訪問販売、クーリング・オフ
4	【各論】高齢者・未成年者の法律問題
5	【各論】金融機関と消費者問題
6	【各論】信用取引と消費者問題
7	【各論】破産・倒産と消費者
8	【各論】マルチ商法・ネズミ講
9	【各論】不動産と消費者問題 (前半)
10	【各論】不動産と消費者問題 (後半)
11	【各論】情報化社会と消費者問題
12	【紛争解決と消費者】裁判所と消費者、裁判所以外の窓口 (ADR) と消費者
13	【紛争解決と消費者】行政と消費者
14	【紛争解決と消費者】教育と消費者
15	まとめ

評価

提出物・授業態度 (40 点)、ペーパーテスト (60 点) を総合して評価する。

100点満点中60点が単位取得の下限となる。

授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、消費者と法の課題について関心と理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。その他、必要に応じて適宜資料を配布する。

科目名	生活構造論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」の2・3年次配当選択科目である。

科目の概要

生活とコミュニティ（地域社会）について、生活構造論からアプローチする。そもそも生活とは多義的な概念であるため、生活構造論は多様である。しかしその基本は、個人または家族の生活状況から社会構造を捉え直そうとする、つまり生活者（個人や家族）の主体性に注目している点で共通している。都市化・産業化によって人々の生活水準は向上したが、それは格差社会をつくりだすことにも繋がった。また、生活の質についてはどうであろうか。この科目では、官庁統計や社会調査のデータを用いて、生活者が置かれている生活状況（生活水準、生活時間、生活空間、生活関係）を確認するとともに、地域社会における生活者の主体形成のありかたを考察する。

学修目標

生活者（個人や家族）の主体性に注目し、生活者の生活状況から社会構造を捉えなおす、生活構造論の基本を学ぶ。官庁統計や社会調査データから生活構造を読み解く力を身につける。

内容

1	生活構造 1 : 生活構造論とは
2	生活構造 2 : 生活の指標
3	生活水準 1 : 家族周期と家計構造
4	生活水準 2 : 消費行動とライフスタイル
5	生活水準 3 : 階層・階級と格差社会
6	生活時間 1 : 生活時間の構造
7	生活時間 2 : ワークライフバランス
8	生活空間 1 : 過疎問題
9	生活空間 2 : 開発と住民運動
10	生活空間 3 : 都市問題
11	生活関係 1 : 自治会・町内会
12	生活関係 2 : 社会的ネットワーク
13	生活関係 3 : ボランティア活動
14	生活関係 4 : コモンズとまちづくり
15	総括

評価

授業時の課題50点、学期末のレポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末レポートの作成に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【推薦書】

三浦典子、森岡清志、佐々木 衛 編（1986）『生活構造』（リーディングス日本の社会学5）東京大学出版会。

堤マサエ、徳野貞雄、山本 努 編著（2008）『地方からの社会学』学文社。

科目名	家族生活論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）/ 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」のうち2・3年次生担当選択科目である。また、中学校教諭一種免許状（社会）および高等学校教諭一種免許状（公民）の教職課程「教科に関する科目」のうち、「社会学、経済学」の必修科目である。

科目の概要

生活の基本単位である家族という小集団と、そこでの人間関係の特徴を理解する。家族は、男女が結婚することによってつくり、子どもの誕生によって成員を増やし、やがて子どもが独立することで規模を縮小し、最後は老夫婦のいずれか一方の死によって消滅するという、ライフサイクルを持っている。ライフサイクルのそれぞれのライフステージには、それぞれの生活課題がある。近年、わが国では未婚晩婚化、晩産化が進み、ライフサイクルの平均像が大きく異なっている。本科目では、家族形成のあり方、家族の構造と機能について、その基本的な捉え方を学ぶとともに、その今日的な変化を実証的に確認する。

学修目標

家族という小集団の構造と機能、夫婦関係および親子関係について、社会調査のデータから客観的に論じられる力を身につける。

内容	
1	家族の捉え方 1：家族の定義
2	家族の捉え方 2：家族と世帯
3	家族の形態 1：核家族
4	家族の形態 2：家族の種類と分類
5	家族の形態 3：家族構成の変化
6	結婚 1：異性交際と配偶者選択
7	結婚 2：結婚の意味と機能
8	結婚 3：結婚の変化
9	家族の発達 1：家族のライフサイクル
10	家族の発達 2：ライフサイクルの変化
11	家族の内部構造 1：家族の役割構造と勢力構造
12	家族の内部構造 2：家族の情緒構造
13	家族の機能 1：子どもの社会化
14	家族の機能 2：老親扶養
15	総括

評価

授業時の課題30点、学期末試験70点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてあるワークシートで予習する。

【事後学修】ワークシートの解答を確認して、学期末試験に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【推薦書】

湯沢雅彦・宮本みち子（2008）『新版 データで読む家族問題』NHKブックス。

野乃山久也編（2009）『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社。

佐藤博樹・永井暁子・三輪 哲編（2010）『結婚の壁 - 非婚・晩婚の構造』勁草書房。

森岡清美（2012）『「無縁社会」に高齢期を生きる』佼成出版社。

科目名	生活環境論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

身近で関心の高いファッション分野について、ビジネスシステムの観点から把握していくことで、この構造問題を捉えていく。

科目の概要

ファッションビジネスにおいては、多様な消費者のニーズ合わせた多品種少量生産の商品開発、それに伴う製造調整・流通在庫投資を厳しくコントロールしていくという、高度な需給整合システムが求められるようになっている。講義では、日本と欧米のファッションマーケットを比較分析し、ビジネスの最前線の事例研究などから、栄枯盛衰の激しいファッションブランドの戦略や製造メカニズムを把握する。

学修目標 (= 到達目標)

流行という要素が非常に大きいファッション業界におけるの厳しいビジネスから、店舗経営の知識を獲得していく。

内容

1	アパレル産業とは 授業の概略解説
2	商売の起源 流通業の歴史
3	繊維の表示と素材
4	日本の百貨店の仕入れ構造 百貨店の歴史と日本独自の委託取引
5	S P A と価格 流通構造と価格設定のメカニズム - ユニクロの事例
6	トレンドはなぜつくられるか 流行色のメカニズム
7	世界の巨大アパレル スウェーデン「H&M」スペイン「インディテックス」米国「GAP」
8	繊維産業の川上から川下構造 岡山県のジーンズ製造業の事例
9	流通構造の変化 ショッピングセンターと従来型小売業
10	ファーマルウェア業界 メンズ・レディースフォーマルアパレルとルール
11	ネット通販 ネット通販の急成長と今後
12	インテリア業界 インテリア・雑貨ショップとホームセンター
13	セレクトショップ 「こだわり」と「つながり」で消費者に訴える
14	これからのアパレル 新しいアパレル形態の潮流
15	まとめ

評価

期末試験70% 小テスト30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業計画に示された「学術用語」について、簡単に調べておくこと。

【事後学修】授業で学んだ基礎用語及び理論について見直し、自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない 毎回プリント配布

科目名	政治とメディア		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年生以上対象の専門科目「A.豊かな生活力を育てる」群科目として、政治についての情報の流れについて学ぶ。

人々が政治についての情報を入手する方法は色々ある。その中でも、職業として政治にかかわる人々 (政治家、官僚) も、素人として政治に参加する人々 (有権者) が最近特に注目しているのがマスメディアとインターネットメディアである。授業では、この2つを取り上げ、それぞれの特徴や問題点を議論する。また、情報のグローバル化が政治コミュニケーションに及ぼす影響についても考察する。

人々がメディアを通じてどのように政治情報を発信、受信しているか、発信している側の意図は何か、それを受信する側は何を感じるかなど、政治コミュニケーションの現状を理解する。

内容	
1	政治コミュニケーションとは何か
2	発信者と受信者の関係 (1) : 直接対話
3	発信者と受信者の関係 (2) : 間接対話
4	マスメディアの自由
5	マスメディアの制約
6	マスメディアと世論
7	インターネットメディアの発展
8	インターネットメディアの影響力
9	メディアの政治的影響
10	政治参加の方法としてのメディア (1) : 選挙キャンペーン
11	政治参加の方法としてのメディア (2) : 政治的動員
12	選挙報道
13	政治コミュニケーションの国際比較 (1) : 欧米諸国
14	政治コミュニケーションの国際比較 (2) : アジア諸国
15	まとめ

評価
レポート (50%)、試験 (50%) で総合評価。60点以上を合格とする。再試験は行わない。

授業外学習
【事前予習】マスコミやネットで伝えられる政治的ニュースをフォローする。
【事後学修】授業で説明された分析的視点からニュースを分析する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】蒲島郁夫他 『メディアと政治』有斐閣アルマ 2007年

【推薦書】遠藤薫 『間メディア社会における世論と選挙』東京電機大学出版局 2011年

【参考書】平田オリザ、松井孝治 『総理の原稿』岩波書店 2011年

科目名	グローバル化と生活		
担当教員名	鴨澤 小織		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

現代社会を突き動かしている動力を身近なモノ、ヒト、文化などから読み解くことで「グローバル化」とは何かを理解する。

科目の概要

グローバル化によって、人間の生活に何が起きているのか、周辺の人たちの生活へどんな影響があるのかなどを考え、その光と影の両面から探してみる。

ゲストスピーカーを招き、海外での多様な経験を実際に聞く機会を設ける。

学修目標 (= 到達目標)

世界の動きが日常生活の世界にどうつながっているのか、グローバル化する社会で人はどう生きているのかを考える力を高め、将来の自分を描くための力をつける。

内容

集中講義の形で授業を進める。講義ではビデオ、インタビュー、ゲストスピーカーの講義などを組み合わせグローバル化を多角的に理解していく。次にレポート作成、プレゼンテーションなど自分の考えをアウトプットする力を伸ばしていく。さらに関心を持った題材を調べて、発表することでグローバル化についての自分なりの考えを深めていく。

1	グローバル化とは何か：今何が起きているのか
2	グローバル化の歴史：2000年前からの「グローバル化」
3	グローバル化する社会の「モノ」100円ショップからフェアトレード
4	グローバル化する社会の「食糧」輸入食材とフードマイレージ
5	グローバル化する社会の「水」水紛争とは何か
6	グローバル化する社会の「文化」本、ファッション、音楽から世界を見る
7	グローバル化する社会の「企業と組織」多国籍企業と国際協力組織
8	グローバル化する社会の「労働1」国境を超える女性労働者
9	グローバル化する社会の「労働2」日本の移民労働者
10	グローバル化する社会の「人間の交流」多文化共生
11	グローバル化する社会の「人の交流：光と影」国際結婚、人身売買
12	グローバル化の諸問題：格差と貧困
13	グローバル化の諸問題：不平等と社会正義
14	グローバル化を生きるということ：誰が豊かになったのか
15	まとめ

評価

課題40%、授業への貢献30%、授業への参加度30% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】授業で配布する資料を読むなど。
- 【事後学修】ビデオなどの感想を書く、課題を調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】教科書は使用しない。
- 【推薦書】授業で紹介します。
- 【参考図書】授業で紹介します。

科目名	コミュニティビジネス		
担当教員名	中嶋 修、田中 由子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

女性でも学生でも将来、経営者になる可能性を秘めています。地方創生 地域活性化 地域の課題を解決する「コミュニティビジネス」や就職して必要となる「新規事業開発」などを総合的に勉強します。

就活や立派な社会人になる為に必要な 情報 経済 政治 アイデア 考え方 (志) 知識 歴史等も丁寧に指導していきます。十文字学園出身で大企業の女性リーダーから女性起業家に転進した田中由子先生と板橋区立企業活性化センターで1000社を超える起業支援の経験を持つ中嶋修の共同授業です。

科目の概要

1. 最新情報 (日本経済新聞などから) を毎回15分程度講義、又、日本、世界経済の動向、時事問題、経営の基本、経済用語解説、一般知識、政治等についての勉強 2. 女性の社会進出、女性のワークライフバランス、企業において女性が成功する秘訣についての勉強 3. 起業についての計画作成、研究、発表会など実践的な勉強

学修目標 (= 到達目標)

1. 日本、世界経済の最新情報を判りやすく学ぶ事で社会への理解が深まり就活への自信につながる。又、地域活性化を考える実践的な学習では「コミュニティビジネス」作成で起業の流れを知る事で自分の可能性を広げ発想力、想像力を引出し、グループワークの楽しさも実感する事が出来る。就活や将来に役立つ要素となる。

内容

良い社会人になる為、就活に必要な事柄について重複して授業をします。女性としての可能性や考え方についても重点的に行い、実践的な課題挑戦 (コミュニティカフェの立ち上げ) も行います。授業の順番については変更する場合があります。

1	講師 (中嶋、田中) の自己紹介と授業の進め方・最新の新聞記事による時事問題
2	女性の創業支援 (起業) について事例と考え方について・最新の新聞記事による時事問題
3	コミュニティビジネス・女性のワークライフバランスについて、レポート課題説明 (相田みつを)
4	地域の現状を知る (志木市、新座市での名物、名所、特色等) ・最新の新聞記事による時事問題
5	日本経済、世界経済の現状と今後の予想について・最新の新聞記事による時事問題
6	地域活性化する商品、アイデア探しについて・最新の新聞記事による時事問題と就活情報
7	会社の作り方について (起業の流れ) ・時事問題と歴史問題、外交問題
8	コミュニティビジネスの計画作成 (グループワーク)
9	コミュニティビジネスの計画作成 (グループワーク)
10	新規事業開発演習 (オリジナルな菓子作りに挑戦) ・時事問題、一般常識、経済用語など
11	コミュニティビジネス発表会 ・経済用語、一般常識、外交問題
12	コミュニティビジネス発表会 ・最新の新聞記事による時事問題と就活情報
13	経済問題と国内問題のまとめ・時事問題、一般常識のまとめ
14	全体のまとめ、就活での注意点、女性としてのマナー注意点、討論会
15	まとめ 学生たちへのエール、就活へのアドバイス、フリーディスカッションなど

評価

授業への参加度40点、レポート提出40点、感想文提出20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】時事問題、特に政治経済等の情報をインターネット等で勉強する事（1時間程度）

【事後学修】新しく習った事項に対してはネット等で確認して覚える事（1時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特になし

【推薦書】特になし

【参考図書】特になし

科目名	NPO活動と組織		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

選択科目

市民が行う自由な社会貢献活動を促進する法律として特定非営利活動促進法が成立したのは1998年である。多様な生活問題の解決にあたって民間非営利団体 (N P O ・ N G O) の貢献する範囲は広がっている。統計などによって見えている部分のごくわずかであるということから「氷山のようなセクターである」といわれた民間非営利領域、およびその主体である民間非営利団体について、さまざまな議論や実践とともに研究も深まりつつある。多様な非営利団体を対象に、現在の私たちの社会におけるその実態と可能性を検討する。講義だけでなく、受講生全体の参加による議論・検討を重視する。

民間非営利団体の現状をふまえて、社会における市民の役割を理解する。

内容

NPOの活動事例の検討は、履修者の人数および関心に応じて変更する。第6～10週は例を示した。

1	生活主体と公共私領域 - N G O ・ N P O の誕生
2	N P O と非営利革命
3	N P O セクターの国際比較
4	ミッションとプロフィット
5	わが国のN P O を取り巻く制度と環境
6	N P O の活動事例 - 教育・文化・スポーツの分野
7	N P O の活動事例 - 医療・福祉の分野
8	N P O の活動事例 - 地域振興・環境問題の分野
9	N P O の活動事例 - 人権・平和・国際協力の分野
10	N P O の活動事例 - N P O の支援を行なうN P O
11	N P O の多様性とその課題
12	N P O における寄付とボランティア
13	N P O のマネジメント
14	N P O の展開と市民社会の可能性
15	レポート報告と講評

評価

事例発表・討議への参加態度 (30点)、期末レポート (70点) として採点し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】推薦書を読む。NPOの活動事例に関する情報収集を行う。

【事後学修】他の受講生の報告をふまえ、各自の関心領域以外の非営利活動について理解と関心を深める

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

推薦書：NPO研究フォーラム『NPOが開く新世紀』清文社 335.8/N

山内直人編『NPOデータブック』有斐閣 335.8/Y

大畑裕嗣他『社会運動の社会学』有斐閣選書

山岡義典編著『NPO基礎講座』『NPO実践講座』ぎょうせい

目加田説子『行動する市民が世界を変えた』毎日新聞社

長谷川公一編『講座環境社会学・環境運動と政策のダイナミズム』有斐閣

科目名	生活経済		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民) / 高等学校教諭一種免許状 (家庭) / 中学校教諭一種免許状 (家庭)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活・家計・消費を「再生産の領域としてとらえ、それらの構造や問題を明らかにする。衣食住を中心とした生活環境の変化から持続可能な消費生活を考察し、自己責任時代のライフプランを作成していく。

科目の概要

本講義は、生活情報学科専門科目である。FP技能士3級合格を目指しながら、年金や税制、金融資産運用について学習する。

学修目標

短期と長期の時間管理と金銭管理を考察。 ライフプラン表を作成し、自立した生活目標を立案。

FP技能士3級に合格できる学力の養成に向けた導入を図る。

内容	
1	イントロダクション
2	家計調査からみた現代日本人の生活
3	家計の変遷 家族の変化と家計
4	ライフプランニングと資金計画
5	ライフプランニングと資金計画
6	生命保険と損害保険
7	金融資産運用
8	金融資産運用
9	税制のしくみ
10	税制のしくみ
11	不動産取引
12	不動産取引
13	相続と事業継承
14	生活経済と新しい潮流
15	まとめ

評価

平常点 (10%)、中間テスト (30%)、学期末テスト (60%) とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読む。

【事後学修】プリントで復習しながら、問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業中に指示する。

推薦書：授業時に指示する。

科目名	生活と産業		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の専門科目である。経済学的な視点からの企業や産業を取り上げる。

科目の概要

日本企業におけるコーポレートガバナンスをアメリカとの比較で行う。その上で、企業が立ち向かう様々な危機を具体的に取り上げ、どのようにその危機を乗り越えていくかを検証していく。また、近年話題M&Aや会社法改正についても取り上げる。さらに、雇用の問題を企業側、労働者側双方から見ていく。また、様々な産業についても取り上げる。

学修目標

企業論に関する基礎的な概念と、現在の企業が抱えている諸問題について理解することを目標にする。

内容

1	ガイダンス
2	株式会社とは何か
3	株式会社の歴史
4	株式会社のしくみ
5	コーポレートガバナンス
6	CSR
7	内部統制
8	敵対的買収
9	日本的経営
10	日本的雇用慣行
11	正規雇用と非正規雇用
12	企業不祥事
13	日本とアメリカの経営比較
14	日本産業の特徴
15	まとめ

評価

平常点 (10%)、中間のレポート (30%)、最終のレポート (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前に配布されたプリントを読む。

【事後学修】事後に各企業について自ら調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。

科目名	女性と起業		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の選択科目です。現代の日本社会では女性もビジネス社会で活躍する大きな機会と期待があります。1年次の経営学基礎で学んだ、基礎的用語や知識に基づいて、将来の就職や起業などのキャリア形成に役立つような、ビジネスの考え方と基本概念を学ぶ科目です。

科目の概要

人生において重要な意味を持つ、お金・仕事についての意味を考え、次にビジネスの基本についての考え方を学びます。さらに、起業とはどのような事か、そしてビジネスと企業をマネージし育てていくにはどのような事を考える事が大事かを学びます。

学修目標 (= 到達目標)

ビジネスとは何か、起業・事業とは何かを学ぶことにより、就職や起業など将来のキャリア形成に必要な知識を学びます。またこれにより、経営や会計・マーケティング等の他の関連科目の理解が容易になります。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い、授業の進め方、評価方法などについて
2	社会と企業、企業と家計・個人との関係
3	仕事とお金、どうやって決まるのか、報酬と利益
4	お金とライフステージ
5	合理的な人の意思決定の経済理論
6	時間とお金、リスクとリターン、貯蓄と投資
7	起業家の誕生～アイデアをビジネスに
8	ビジネスモデルと基本コンセプト
9	起業で最初にやるべき事
10	個人事業か会社設立か
11	ケーススタディ (1) ～新しい視点
12	ケーススタディ (2) ソーシャルビジネス
13	ケーススタディ (3) ベンチャービジネス、会社の上手な育て方、成長と革新、事業承継
14	女性とビジネス
15	まとめと最終課題

評価

授業への取り組み姿勢 30%、小レポート提出 30%、期末課題提出 40%を目安とし、総合評価 60 点以上を合格とする

。

授業外学習

【事前予習】事前に講義資料をサーバーで目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】講義資料はパワーポイントで行い、都度講義資料のプリントを配布する

【推薦書】<イラスト図解> 会社のしくみ（坂田岳史著 日本実業出版社）

【参考図書】追って指示する

科目名	家族と労働法		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法（親族・相続）の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

科目の概要：

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

学修目標

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を深めることを目的とします。また、知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

内容

1	家族問題と法
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	家族法の現代的問題
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 相続人と相続財産
12	相続 法定相続
13	遺言・遺留分
14	働く女性と法
15	総括

評価

提出物・受講態度（40点）、ペーパーテスト（60点）を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、家族と法の課題について関心と理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

資料等は適宜配布する。

【教科書】 開講時に指示

【参考書】 『家族の法[第3版]』 利谷信義（有斐閣）

『デイリー六法』（三省堂） その他の六法も可

科目名	インターンシップ入門		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本講義は「インターンシップ」及び「短期インターンシップ」履修の事前授業である(「インターンシップ」「短期インターンシップ」を履修する場合は原則として本講義を履修すること。

科目の概要

企業が求めている人材像(ビジネスマナー、社会人としての基本動作他)について学び、インターンシップの受け入れ先である私企業、地方自治体などについての基本的な知識を身に付ける。インターンシップの内容、インターンシップに参加する意義を自ら探し、より良い体験の機会を得られるよう準備する。また、それらの体験をいかに活かしていくかを考え実践する準備を行う。

学修目標

インターンシップとは学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一貫とし、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップは就職には必ずしも直結しないがインターンシップを経験することで積極的な就職活動が可能となる。

内容

1	ガイダンス・インストラクション(インターンシップ入門で学びの構え、型を学ぶ)?
2	ワークショップの型を学ぶ?
3	キャリアデザインを考える、企業・社会が期待する女性社員とは?
4	インターンシップ研究法(検索からエントリー、マッチングまで)?
5	インターンシップ体験者から学ぶ1?
6	インターンシップ体験者から学ぶ2?
7	理想的なインターンシップを体験するために?
8	企業ゲストから学ぶインターンシップ1?
9	自治体ゲストから学ぶインターンシップ?
10	企業ゲストから学ぶインターンシップ2
11	企業ゲストから学ぶインターンシップ3
12	インターンシップ報告書作成とリテラシー?
13	体験の言語化とoutput?
14	より良いインターンシップを体験するために(応募手続きガイダンス)?
15	学びの振り返り?

評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化(60%)、適宜行う課題の評価(30%)、最終テストの評価(10%)

。以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポ

イント、Self-evaluation1～3ポイント) レポート・課題・・・3～8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度課す)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】各回の事前課題教材の学習。

【事後学修】振り返りとして48時間以内に学びの内容や各自の気づきをメールで提出。フォーマットはインストラクションで解説。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

その都度、掲示する。

科目名	ライフコースと生活設計		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科専門科目「Bキャリアを形成する」の2・3年次配当選択科目である。

科目の概要

家族という小集団は、男女が結婚することで形成され、子どもの出生と成長によって拡大する。しかし、子どもが成人して自身の家族を形成するにしたがって縮小し、やがてはもとの夫婦二人になるという生活周期をもっている。家族にはこうした周期現象がみられることから、より長いスパンでの生活設計という考えが生まれた。ところが、個人の生き方が多様化するなかで、家族の生活周期と個人のライフコースとはどのように交錯しているのか、時代や世代によってどう変化したのかといった考察が必要になってきた。本科目では、女性の自立とライフコースの選択、格差社会の進展にともなうライフコースの移行の遅れといった今日的な課題について、論理的に考察する。

学修目標

家族周期やライフコースという家族の発達アプローチを理解する。ライフコース分析の基本を学修する。より長いスパンから女性のキャリアを考える視点を身につける。

内容

1	ライフサイクルとは
2	ライフコースとは
3	ライフコース研究の古典 (1) G.H.エルダー 『大恐慌の子どもたち』
4	ライフコース研究の古典 (2) T.K.ハレーブン 『家族時間と産業時間』
5	ライフコース研究の古典 (3) D.W.ブラス 『日本人の生き方』
6	日本におけるライフコース研究の古典 (1) 森岡他 『現代日本人のライフコース』
7	日本におけるライフコース研究の古典 (2) 森岡清美 『決死の世代と遺書』
8	ライフコースのステージ移行 (1) 成人への移行の遅れ
9	ライフコースのステージ移行 (2) 格差社会の登場
10	結婚と出産の世代変化 (1) 少子化
11	結婚と出産の世代変化 (2) 晩産化
12	女性のライフコース (1) 女性のライフコース・パターン
13	女性のライフコース (2) ライフコース・マーケティング
14	多様化する高齢期
15	総括

評価

授業時の課題提出50点、学期末試験50点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末試験に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

【参考図書】

森岡清美（2005）『発展する家族社会学』有斐閣。

青木 幸弘 & 女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

森岡清美（2012）『「無縁社会」に高齢期を生きる』アークスの森新書。

科目名	ワークライフバランス論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3年生以上 生活情報学科・専門科目B「キャリアを形成する」の選択科目

科目の概要

就職意識が高まる3年生以上の学生に、今後の長期職業生活に関わる「ワークライフバランス」とな何か、企業の制度・取組はどのようになっているか、地域の子育て支援制度の整備はどうかなど、関連の実態について学習をすすめ、自身の職業生活における「ワークライフバランス」の視点を獲得する。

学修目標 (= 到達目標)

制度の実態をとらえ、ワークライフバランスを可能にする知識を持つ。

内容

1	オリエンテーション：ワークライフバランスがなぜ重要か
2	女性としごとー日本の状況、世界の状況
3	ワークライフバランスに取り組む企業1 - 関連資料
4	ワークライフバランスに取り組む企業2 - 「月刊・ワークライフバランス」の記事活用
5	演習：企業情報比較研究
6	ワークライフバランスに取り組む企業3 - 女性の働きやすい企業とは・調査データ
7	男性の変化1 - イクメンパパの登場は、イクボス登場
8	男性の変化2 - 働き方を変える・男性の長時間労働問題
9	ゲスト講師：育児パパ登場
10	子育て支援1 - 待機児童解決は、子育て支援制度
11	子育て支援2 - 表彰企業は
12	演習：私の地域の子育て支援を探る
13	社会資源（リソース）とつながるー子育てや、再就職の相談はどこに
14	ワークライフバランスを考慮したこれからの生き方
15	まとめ

評価

課題レポート50点、演習への参加状況20点、プレゼン30点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 「事前予習」：自分の地域の子育て支援などについて調べる。関連の事項について新聞や雑誌などから情報を集める。また地域の関連事項を調べる。
- 「事後学修」：企業の事例などを加えて、レポート作成の準備につなげる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に関連の資料や本を紹介する。

科目名	問題解決手法		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

大学、職場問わず様々な場面で直面する問題の合理的な解決手法について学ぶ。

科目の概要

問題に直面した時に、たくさんのアイデアを発想しそれをまとめることにより解決策を模索する創造的な解決手法と、問題をモデル化して合理的な意思決定をする解析的な解決手法の両方を学び、演習を通してそれらを活用する力を養う。

学修目標(=到達目標)

- ・様々な問題解決手法について概要を理解する
- ・自分が問題に直面した時に、それらの手法を活用できる

内容

1	問題解決手法の概要
2	グループディスカッション(1)
3	ブレインストーミング
4	親和図法
5	グループディスカッション(2)
6	特性要因図
7	マインドマップ
8	演習
9	リスク・不確実性のもとでの意思決定
10	競争下の意思決定
11	AHP(階層的意思決定)
12	いろいろな問題解決手法
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

評価

演習 ・ :各30%、総合演習:40%の配分で総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の資料を見直し、理解が不十分な場合は質問項目を整理しておく

【事後学習】学んだ内容を復習して理解を深めておくとともに、身の回りの問題に適用できないか考えてみる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	人材育成論		
担当教員名	安田 順		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目では、組織における人材育成の根幹となる考え方であるマネジメントの本質を学ぶ。マネジメントについて理解することは、企業等で働きながらキャリアを築いていくために、また企業等の組織で人材育成の仕事をするために決定的に重要である。

科目の概要

マネジメントは、組織内において人間の人的な成長を促進するものであり、組織における人材育成の中核概念である。そこで、この科目ではマネジメントをさまざまな角度から考察する。角度は7つである。マネジメント環境・マネジメントサイクル・マネジメント目標・部下マネジメント・部下育成・トラブル対応・組織マネジメントである。これらについて事例を用いながら理解を深めていく。

学修目標

マネジメントから見た適切な考え方を理解できるようになることを目標とする。そのために、授業の内容や取り上げるさまざまな事例について自分の頭で考え、自分で考えたことをノートに記述し、記述した内容を読み返して自分の考え方を深めていく、という積極的な作業を行うことが求められる。

内容

- 1 マネジメントと人材育成
- 2 マネジメント環境(1)
- 3 マネジメント環境(2)
- 4 マネジメントサイクル(1)
- 5 マネジメントサイクル(2)
- 6 マネジメント目標(1)
- 7 マネジメント目標(2)
- 8 部下マネジメント(1)
- 9 部下マネジメント(2)
- 10 部下育成(1)
- 11 部下育成(2)
- 12 トラブル対応(1)
- 13 トラブル対応(2)
- 14 組織マネジメント(1)
- 15 組織マネジメント(2)まとめ

評価

期末テスト10%、授業冒頭と授業終了前に作成・提出するリアクションシート90%という配分で評価するものとし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の授業の課題について授業冒頭にリアクションシートに書けるようにまとめてくること。

【事後学修】毎回、授業の最後に課題を出すので、それについて考えること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。必要に応じて、授業中にプリントを配付する。

【推薦書】授業中に適宜紹介する。

【参考図書】授業中に適宜紹介する。

科目名	キャリアモデルケース研究		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

2年生以上 生活情報学科・専門科目B[キャリアを形成する]の選択科目

科目の概要

企業で働く、多様な「キャリアモデル」となる社会人女性たちから直接話をうかがい、各自のキャリアデザインや 生き方 などを捉える。職業キャリアのみならず、社会活動キャリア についても含めることで、幅広い今後の生き方をつくることにつなげる。聴くだけでなく、参加型授業 により、グループワークなどで意見交流し、自分のキャリアプランを作る。

学修目標 (= 到達目標)

社会人の体験から、自分のキャリアデザインにつなげる知識と意識をもつ。

内容

1 回・オリエンテーション・授業の進め方 (参加型)

2 回 : 、女性とキャリアの現状 (講義)

3 - 1 1 回 キャリアモデル による ケース研究

3 人の異なる働き方をする社会人女性が「キャリアモデル」として登壇。

社会人女性の講義

の話をもとに、学生との交流

学生のレポートプレゼン

1 2 ・ 1 3 回 : グループワークによる意見交換、

1 4 回 : 今後のキャリアに向けての計画作り

1 5 回 : 授業の振り返り

評価

報告やプレゼン 40点、グループワークなど授業への参加 30点、自身キャリアプラン作り 30点度とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】キャリアモデルに関連する企業研究・業界研究を行う

【事後学修】自分のキャリアプランづくりにつなげる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

「日経ウーマン」のキャリア・ライフチャートを利用する。「女性情報」などから新聞記事を事例資料として紹介し、活用する。

科目名	キャリア開発論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

2年生以上 生活情報学科専門科目B「キャリアを形成する」の選択科目

科目の概要

女性の職業生活が長期化し、生涯にわたるキャリアデザインを行うことが重要になっている。企業社会を中心とした「職業キャリア」についてと同時に、もう1つの「社会活動キャリア」を複合的にとらえる。働く女性の実態、その変化を把握し、自分のキャリア開発につなげる。PCを活用して関連情報をとらえる演習も行う。

学修目標

長期的な視点によるキャリア開発をイメージできるようにする。

内容

1	オリエンテーション 現代社会と女性のキャリア
2	活躍する女性を捉える1 - 日経ウーマンの女性たち
3	演習・記事を基にした 人物分析
4	活躍する女性を捉える2 - 新たな領域への進出・世界の女性たち
5	演習・チャレンジする女性たち・リーダー
6	活躍する女性を捉える3 - 多様な社会活動を行う女性たち
7	演習：データで探る NPO活動・地域活動など
8	働き方の多様化1 - 女性の視点からの商品開発
9	演習：商品開発女性チーム
10	働き方の多様化2 - 自分で会社を作る・起業
11	働き方の多様化3 - 起業就労・NPOでの仕事
12	演習：女性の起業家 たちの会社は
13	学生の社会とのかかわり - 学生のチャレンジ事例
14	自分のキャリア開発
15	まとめ

評価

課題への取り組みを50点、演習への参加(30点)、自分のキャリア開発20点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

「事前予習」：PCを用いてのキャリア関連情報検索などを行い実態をとらえる情報を集める。

「事後学修」：理解できにくい事項や制度などについて、さらには詳細にしらべ、理解を深めるための学習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に関連書籍やサイトの紹介を行う。

科目名	キャリア基礎力応用		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。

科目の概要

就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

学修目標（=到達目標）

就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指す。

内容

1	ガイダンス、チェックテスト、必ず受験してください
2	非言語1
3	非言語2
4	非言語3
5	非言語4
6	非言語5
7	非言語6
8	非言語7
9	非言語8
10	言語1
11	言語2
12	一般常識1
13	一般常識2
14	前期まとめ
15	文書力1

評価

小テスト50点、期末テスト50点などをもとに、総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】テキストの未修ポイントの学習1時間

【事後学修】テキストを中心とした練習問題学習 1時間

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に指示

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

内容	
1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

評価
学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成28年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社

その他適宜，補助レジユメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社

その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

内容	
1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

評価
学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成28年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社

その他適宜，補助レジユメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社

その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを 目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確かなものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを 目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確かなものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを 目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確かなものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記中級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、「簿記初級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、企業のさらに複雑な商業活動の記帳方法と決算技法を習得する科目である。

科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験 2 級の商業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

学修目標

複雑な企業取引の内容を把握し、会計処理方法を十分に理解する。また企業取引の複合的な応用論点への対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定商業簿記 2 級の合格レベルを目標とする。

内容	
1	簿記一巡の手続
2	現預金取引
3	有価証券取引
4	債権・債務取、手形取引 (その 1)
5	手形取引 (その 2)、引当金取引
6	商品売買取引
7	特殊商品売買取引 (その 1)
8	特殊商品売買取引 (その 2)
9	固定資産取引、損益取引
10	株式会社会計 (その 1)
11	株式会社会計 (その 2)
12	決算 (その 1)
13	決算 (その 2)
14	本支店会計
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等 (20%)、通常の授業態度 (20%)、学修目標に基づく期末試験 (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定の時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義2級商業簿記[平成28年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著（中央経済社） 700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記上級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、「簿記初級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、企業のさらに複雑な商業活動の記帳方法と決算技法を習得する科目である。

科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験 2 級の商業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

学修目標

複雑な企業取引の内容を把握し、会計処理方法を十分に理解する。また企業取引の複合的な応用論点への対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定商業簿記 2 級の合格レベルを目標とする。

内容	
1	簿記一巡の手続
2	現預金取引
3	有価証券取引
4	債権・債務取、手形取引 (その 1)
5	手形取引 (その 2)、引当金取引
6	商品売買取引
7	特殊商品売買取引 (その 1)
8	特殊商品売買取引 (その 2)
9	固定資産取引、損益取引
10	株式会社会計 (その 1)
11	株式会社会計 (その 2)
12	決算 (その 1)
13	決算 (その 2)
14	本支店会計
15	まとめ

評価

ミニテスト・課題レポート等 (20%)、通常の授業態度 (20%)、学修目標に基づく期末試験 (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定の時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義2級商業簿記[平成28年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著（中央経済社） 700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	マーケティング論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

変化の激しい現代ビジネスを考える上では、マーケティングは欠くことのできないものとなっている。ビジネス情報を、マーケティング理論を踏まえて捉える力の基礎を修得する。

科目の概要

マーケティングとは、市場と企業や組織とのかかわりを考察する考え方や接近法であり、そしてその仕掛け作りである。前半ではマーケティングの重要要素をケーススタディを通して記述していく。後半からは最新のマーケティング展開と社会的役割までを解説。

学修目標 (= 到達目標)

本講義では、マーケティングの基礎理論および現象についての理解から、実践的・具体的にマーケティングについて考察する力をつけていく。

内容

1	マーケティングの基礎概念 - SellingとMarketingの違い
2	マーケティングの発展 - マーケティングの歴史
3	製品開発 - 製品開発の流れと成功率
4	価格のマネジメント
5	消費者行動の理解とマーケティングリサーチ
6	コミュニケーション戦略 - 広告と販売促進
7	市場の細分化とターゲティング
8	製品戦略
9	市場戦略と競争対応 - S W O T 分析
10	競争戦略 - 事例研究
11	競争戦略 - 競争要因と戦略
12	ブランド・マネジメント
13	マーケティング環境
14	サービス・マーケティング - 顧客満足度
15	まとめ マーケティングの社会的役割

評価

授業内中間試験とレポート (各15%)、期末試験 (70%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業計画に示された「学術用語」について、簡単に調べておくこと。

【事後学修】授業で学んだ基礎用語及び理論について見直し、自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。毎回必要なプリントを配布。

【推薦書】石井淳蔵、廣田章光著『1からのマーケティング』中央経済社

科目名	ブランド戦略		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

「ブランド」は現在の企業活動において、重要なテーマの一つですが、「ブランド」は今になって急に注目度を増したのではなく、古くは自らの保有物の証明書として捉えられていました。現在の「ブランド」への注目は、他の商品・サービスとの差別化を求める企業のマーケティング行動にのみ関係するのではなく、組織・商品や個人の「存在表明」として捉えられることにあります。

科目の概要

「ブランド」を身近な事例に基いてわかりやすく説明していきます。「ブランド」とは何なのか。その機能や役割、管理について把握し、「ブランド」は消費者にとってどのように認知されるのか、消費者との関係についても理解を深めていきます。

学修目標 (= 到達目標)

「ブランド」の基礎について理解を深め、具体例を基に「ブランド」の戦略や資産価値を述べるようにします。合わせて、自分自身の存在を「ブランド」と捉え、「ブランド」創造の手順を学習し、未来に向けた自らの将来ビジョンを設計する着眼力を高めるようにします。

内容	
1	オリエンテーション
2	ブランドとは何か
3	マーケティング概念変遷とブランド
4	ブランドの構成要素 - 企業経営におけるブランドの果たす役割
5	ブランドの創造ものがたり
6	企業マーケティングとブランドの役割
7	地域ブランドとは何か
8	ブランド・エクイティ
9	新市場創造とブランド化計画
10	SWOT分析と自分自身のブランド化
11	ブランド確立に必要な「商品開発」の具体的手法・考え方について解説
12	開発したブランドの育成に関する考え方・手法について様々な角度から解説
13	ブランド・コミュニティ
14	ブランドのこれから
15	まとめ

評価

授業への参加30%・数回にレポート20%・筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

毎回の講義終了時に、次回の講義内容を説明し、予習の要点を指示する。

【事後学修】

毎回配布する資料で、講義内容を復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。

科目名	ビジネス経済学		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の専門科目であり、経済学の基礎を学習する。

科目の概要

経済学の基礎的概念と考え方を学習し、現実の経済問題について考察できるように講義する。

学修目標 (= 到達目標)

経済学の基礎的概念を理解する。また、日本経済の諸問題について理解し、自分の意見を持てるようにする。

内容	
1	ガイダンス
2	経済学とは何か
3	ミクロ経済学 1 : 需要と供給
4	ミクロ経済学 2 : 市場の失敗
5	マクロ経済学 1 : ケインズ経済学
6	マクロ経済学 2 : 財政政策と金融政策
7	金融危機と金融政策
8	財政政策と財政赤字
9	中間試験
10	グローバリゼーションと日本経済
11	グローバルな金融危機と日本経済
12	社会保障改革
13	電力改革にみる公益事業
14	日本経済の過去、現状、未来
15	まとめ

評価

中間テスト (30%) と学期末レポート (70%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読むこと。

【事後学修】プリント、ノート、および参考文献の指定箇所を読み復習すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定なし。

【推薦書】『スティグリッツ 入門経済学 第4版』東洋経済新報社

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	ビジネスと法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性質

消費生活と法」などとともに履修するとビジネスを行う上での法的課題を経営者側・消費者側双方の視点で検討でき、理解が深まる。

科目の概要

金融業・不動産業・各種販売サービス業などお金が動くビジネスの場面を想定し、関連する法律と問題解決法について学び、ビジネス社会を生きるための法的な教養を身につける。具体的な事例を想定しながら、債権法、物権法、担保物権法や民法の特別法がビジネス社会のなかで実際にどのように活用されているのか、その限界や課題はどこにあるのかについての理解を深める。また、知的財産権法や個人情報保護法といった情報化社会と関連する法律とビジネスとの関係についても言及し、ビジネス社会のなかでの法の役割について検証する。

学習目標

- ・ビジネスに関連する基本的な法律の知識と教養を身につける。
- ・事例を検討することにより、論理的思考力や課題解決力の養成を目指す。
- ・事例や時事問題を利用し、文章読解力・文章表現力を身につける。

内容	
1	ガイダンス、会社と法律との関係
2	会社と法律との関係
3	会社組織に関する法律
4	会社組織に関する法律
5	人事・労務に関する法律
6	人事・労務に関する法律
7	財産に関する法律
8	財産に関する法律
9	取引に関する法律
10	取引に関する法律
11	取引に関する法律
12	債権管理に関する法律
13	債権管理に関する法律
14	ビジネスと紛争処理
15	総括

評価

ワークシート・ミニレポート等の提出物・受講態度 (40点)、レポート試験 (60点) を総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、ビジネスと法の課題について関心と理解を深める

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

関連資料等は適宜配布する。

【参考書】『ビジネスの常識としての法律』堀龍児・淵邊義彦（日経文庫）

科目名	企業戦略論		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」基礎科目を履修した学生を対象に、将来多くの学生が就職する企業とはどのように経営されているのか、企業経営戦略の全体像を学ぶ科目です。

科目の概要

現代企業を取り巻く環境は、グローバル化や技術革新など複雑化を極めまた変化のスピードが速くなっています。その変化に対応するには、それぞれの個人の専門分野が何であれ、企業経営戦略の全体像を理解したうえでの専門性が求められています。これら企業経営の全体像を俯瞰し、最低限の基礎知識を体系的に学ぶ科目です。

学修目標 (= 到達目標)

企業への就職する前に、企業経営の基本とは何かについて正しい理解を持つ事ができます。

内容

1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業の歴史と現代社会における企業
3	企業の目的と経営の目的
4	企業の社会的責任とCSR, リスクマネジメント
5	経営理念とビジョン、経営計画について
6	戦略のマネジメント(1)
7	戦略のマネジメント(2)
8	マーケティングのマネジメント
9	組織のマネジメント
10	人材のマネジメント
11	オペレーションのマネジメント
12	財務と資金、情報のマネジメント
13	成長と再生のマネジメント
14	まとめ
15	課題

評価

授業への取組み姿勢 30%、小レポート提出 30%、期末課題提出 40%を目安とし、総合評価 60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事業前に教科書の該当箇所を読んでおく事

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料と教科書で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】企業経営入門（遠藤功著 日経文庫）。パワーポイント講義資料は都度プリントを配布。

【推薦書】<イラスト図解>会社の仕組み（坂田岳史 日本実業出版社）

科目名	企業倫理		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

学科専門科目～(C)ビジネス社会を生きる～の選択科目。企業が社会からどのような倫理行動を要求されているのか、どのような事が問題視されるのかについて学ぶ。将来企業と接する際の行動規範の常識や、企業の一員として働く場合に、どのような事が求められ、どのような事が社会的に問題となるのかを理解する為にも役立つ。企業に就職を志望している学生にとっては有益な授業である。

企業は社会や顧客に価値を提供する事を通じて、利益を追求する組織である。しかし現代社会における企業活動の影響力は大きく、ちょっとした思慮不足や、倫理に反した行動が、社会的に批判され、企業の存続が危うくなる事もある。企業と社会との関係の歴史の変遷や、実際に問題を起こした企業の事例を見ながら、これからの企業が遵守すべき基準や大事な考え方・姿勢は何かを学ぶ。

社会的に期待される優良企業の価値基準、行動パターン、経営陣や所属員の考え方を理解し、また小テストで事例に対する論点や自分の考えをまとめて表現する練習を通じて、将来の生活やビジネスで接したり、就職する可能性のある企業を選ぶ眼も養う事が出来るようになる。

内容

1	ガイダンス,授業の概要・進め方、成績評価など
2	企業の発展の歴史と企業の役割の変遷
3	法人と企業、企業と多様なステークホルダーとの関係
4	利益追求の企業に倫理的な行動は両立するのだろうか
5	企業の社会的責任とその発展
6	企業活動と法律の関係
7	コンプライアンスとは何か
8	消費者や社会の視点からみた企業倫理と不祥事例
9	従業員の視点からみた企業倫理と不祥事例
10	経営者の視点からみた企業倫理の仕組みと事例
11	海外の主な不祥事の事例
12	日本のコーポレートガバナンスと安全装置
13	日本のコーポレートガバナンスの問題点
14	日本のコーポレートガバナンスの新しい制度と潮流
15	まとめと課題

評価

授業への参加姿勢30点、小テスト30点、期末レポート40点を目安として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】サーバーで講義資料に目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容や事例を、小テストの課題に応用し考えをまとめて提出する事

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

別途指示します

科目名	マネープランニング		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本講義は2年次の「生活と経済」に続いてFP技能士3級合格を目指し、さらに、2級へと学習を進めていくものである。

科目の概要

FP技能士3級、2級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人がかかわる金融全体についての知識習得を図る。

学修目標

FP技能士3級、2級に合格できる学力の養成を図る。

内容

1	ガイダンス
2	ライフプランニングと資金計画 1
3	ライフプランニングと資金計画 2
4	生命保険
5	損害保険
6	金融資産運用 1
7	金融資産運用 2
8	金融資産運用 3
9	税制のしくみ 1
10	税制のしくみ 2
11	不動産取引 1
12	不動産取引 2
13	相続と事業継承 1
14	相続と事業継承 2
15	まとめ

評価

平常点 (10%)、中間の確認テスト (30%)、学期末テスト (60%) とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】プリントを読む。

【事後学修】授業内容を復習して、練習問題を解く。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業中に指示する。

科目名	国際経営論		
担当教員名	笠原 伸一郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

< 科目の性格 > 世界的な高度情報ネットワーク社会の進展と企業のグローバル化の急速な展開は、従来の年功序列、終身雇用といった日本的慣行をも崩壊させ、個々の従業員の能力が問われる時代を日本企業は迎えている。本講では、こうした企業のグローバル化が生じた理由および企業経営の変遷を大企業を事例にして概説し、さらに国際経営戦略論の立場から問題点を検討して、地球企業社会の方向性を明示する。これにより就職先決定へのヒントを提示するとともにグローバル社会で働く意義を理解させる。

< 科目の概要 > 経営学は他の学問と異なり絶対原理はない。個々の企業の盛衰は個々の状況によって異なるゆえ、ケース・スタディ - (事例研究) によって検証する方法を採る。本講では、多数の事例をあげて国際経営および経営の基礎をわかりやすく解説し、就職で有利になるよう導く。最後に専門とするホテル、航空業界の問題点も加えて、グローバル企業の方向性を多角的に検討する。

< 学修目標 (= 到達目標) >

- 1 世界のグローバル化の潮流および国際経営の必要性を理解する
- 2 企業社会でのグローバルな人材としてのセンスを身につけ、就職先決定へのヒントを得る
- 3 人間はなぜ働き、企業は成長しなければならないかを理解する
- 4 異文化経営の問題、とくに日本的経営の特徴について深く理解する
- 5 BOPビジネスを例にグローバル化による経済格差 (貧困層) の解決策を考える

内容

1	企業とは何か。経営とは何か。 - 夢を実現させる方法 - (事例 : 東京ディズニーリゾート)
2	経営学の誕生とその必要性 - 経営学を学ぶ意味 - (事例 : ハーバード大学)
3	国際企業に至るまでのプロセスとその戦略 - 日本発のコンビニ - (事例 : セブンイレブン)
4	日本企業の国際化戦略 1 - この世にないモノを創造する - (事例 : ソニー)
5	日本企業の国際化戦略 2 - 人間はなぜ働くのか - (事例 : ホンダ)
6	日本企業の国際化戦略 3 - デザインが命 - (事例 : 日産)
7	日本企業のグローバル戦略 - 協働の強さ - (事例 : トヨタ、富士通)
8	日本的経営の原理とその海外移転 - 日本人はなぜコンパが好きなのか -
9	米国経営学の系譜 - 人間はなぜサボるのか、そしてやる気を起こすには -
10	米国巨大企業のグローバル戦略 - No.1になるとなぜ得なのか - (事例 : GE)
11	米国巨大グローバルIT企業の実態 - カリスマ経営者の夢 - (事例 : アップル)
12	起業経営とグローバル・ボーンカンパニー - 会社を創る意義 - (事例 : HP、グーグル)
13	グローバルリーダーの条件 - 家族の父親と母親、そして経営者、政治家に共通するもの -
14	グローバル・サービス産業 - 航空業界の将来、CAはどうなるの? - (事例 : 日本航空)
15	総括 グローバル格差社会とBOPビジネス - 世界の貧困層をどう救うか - (住友化学)

評価

学修目標に関するレポート（40点）、出席票裏に課す小テストを含む授業への参加度（60点）で総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次週授業で講義する該当項目を、教科書で確認する。（30分） 並行して、新聞（日本経済新聞）の経営記事を日々読む習慣をもつことが望ましい。（15分）（計 45分）

【事後学修】授業内容を復習後、より深く詳しく理解するために推薦書などを参考にする。同時に授業内での疑問点の確認作業を行い、「将来のキャリア形成」との関連を考えさせる。（計 1時間）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】加藤茂夫編、笠原伸一郎ほか著『経営入門 -よい経営の創り方、よい経営の学び方』（学文社）

【推薦書】笠原伸一郎著『グローバル企業の史的展開』（中央経済社）、笠原伸一郎編『図説 国際ビジネス』（中央経済社）、江夏健一編『新版 理論とケースで学ぶ国際ビジネス』（同文館出版）335.5/R 【参考図書】ジェフリー・ジョーンズ著『ビューティビジネス』（中央経済社）日経新聞、その他授業中に指示する。

科目名	国際関係論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年生以上対象の専門科目「C. ビジネス社会を生きる」群科目として、国際社会の全体像を理解する。

国際問題を、国際社会という舞台に現れる登場人物 (アクター)、出来事 (ストーリー) という視点でとらえ、20世紀後半の国際問題の流れを再考する。その上で21世紀の国際社会が直面している問題の特徴を探る。新たな情報手段や科学技術の登場によって、これまでとは異なる国際問題が発生する可能性についても論じる。

国際社会の動きと日本、さらに日本国内で身の回りに起きている出来事との関連性を理解し、国際社会が日本から遠いところで、自分に関係なく動いているのではないことを学ぶ。

内容

1	国際社会への視点：日本の役割
2	20世紀の国際関係 (1)：冷戦の始まり
3	20世紀の国際関係 (2)：冷戦の終結
4	地域紛争 (1)：歴史
5	地域紛争 (2)：現状
6	テロリズム
7	南北問題 (1)：格差
8	南北問題 (2)：貧困
9	環境問題 (1)：地球環境問題
10	環境問題 (2)：国際協力
11	人権問題
12	国際社会の協力関係 (1)：グローバル化
13	国際社会の協力関係 (2)：リージョナリゼーション
14	21世紀の国際社会と日本
15	まとめ

評価

レポート (50%)、試験 (50%) で総合評価。60点以上を合格とする。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】個々に選択した国あるいは指導者についてのニュースを集める。

【事後学修】授業で説明された国際政治の背景に重ねて、選択した国・指導者の動きについて考える。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】原彬久 『国際関係学講義（第4版）』有斐閣 2011年

【推薦書】渡邊啓貴編 『新版ヨーロッパ国際関係史』有斐閣アルマ 2008年

【参考図書】猪口孝 編 『国際関係リーディングズ』東洋書林 2004年

東大作 『平和構築 - アフガン、東ティモールの現場から』 岩波新書 2009年

科目名	株式投資入門		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科専門科目であり、1, 2年次の講義をまとめてさらに実践する科目である。

科目の概要

1980年代以降、アメリカを中心に発展してきた金融工学の基礎について理解することを狙いとする。株式投資やデリバティブ商品などについて詳しく扱う。金融に内在するリスクの定量化には数理的な側面を避けて通れないのだが、パソコンを利用することで、あまり数学の世界に深入りしないでも、かなりの不確実性を数値にすることが可能となっている仕組みを理解する。また、さまざまな金融商品を学習し、その上で、株取引や為替取引のシミュレーションを経験する。さらに、株式投資を行うために情報を得ることを目的として、会社情報の収集の方法と読み解き方を学習する。

学修目標

金融商品などの概念を理解する。会社情報の収集方法と内容を理解する。

内容

1. ガイダンス
2. ファイナンスとは何か
3. ファイナンスの統計処理基礎
4. 財務分析
5. 投資の考え方
6. 株式投資の実際
7. ポートフォリオの構成
8. 債券の計算
9. 先物取引
10. オプション取引
11. スワップ取引
12. 投資信託などの金融商品
13. 証券分析の演習
14. 外国為替取引
15. まとめ

評価

平常点 (10%)、毎回の課題 (50%)、最終課題 (40%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】新聞などから企業情報を収集する。

【事後学修】授業で学んだ企業情報の収集方法を実践する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	企業と情報		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」基礎科目を履修した学生を対象に、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われているのかを学ぶ科目です。

科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、サプライチェーンマネジメントシステム、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

学修目標 (= 到達目標)

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れを俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か (1) 歴史と社会における役割について
3	企業とは何か (2) 会社の種類と特徴について
4	企業とは何か (3) 取引先と仕事のながれについて
5	企業とは何か (4) 様々な組織と働く人々
6	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係
7	マーケティングとセールスについて
8	製造業と工場生産について
9	輸送とロジスティクスについて
10	インターネットを活用したビジネス取引と情報について
11	インターネット取引を活用した個人サービスとシェアリング・エコノミーについて
12	金融・ファイナンス取引の基礎について
13	財務・会計、人事・労務について
14	企業の経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告
15	まとめと最終課題

評価

授業への取組み姿勢 30%、レポート提出 30%、期末試験 40%を目安とし、総合評価 60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイントによる講義資料。都度講義資料プリントを配布。

【推薦書】＜イラスト図解＞会社のしくみ（坂田岳史著 日本実業出版社）

科目名	会計情報システム		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」「会计学基礎」を履修した学生を対象に、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われ、企業会計原則に基づいて計上され、決算書に反映されていくかを学ぶ科目です。

科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、サプライチェーンマネジメントシステム、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

学修目標 (= 到達目標)

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れを俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

内容

1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か (1) 株式会社の基本
3	企業とは何か (2) 取引先と仕事のながれ
4	企業とは何か (3) 組織と人々
5	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係、ITの活用
6	マーケティングと顧客管理・販売管理
7	工場生産と仕入れ、在庫管理
8	輸送とロジスティクス～宅急便
9	金融・ファイナンス取引システム
10	インターネット取引と情報システム
11	財務・会計システム, 損益計算書、貸借対照表
12	人事、労務、給与管理システム
13	企業統合情報システムの種類と企業での採用
14	経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告
15	まとめ

評価

授業への取組み姿勢 30%、レポート提出 30%、期末試験 40%を目安とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 授業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】 授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 パワーポイントによる講義資料。都度プリントを配布。

【推薦書】 <イラスト図解>会社のしくみ （坂田岳史 日本実業出版社）

科目名	インターネットビジネス		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の専門科目である。

科目の概要

インターネット上では様々な経済取引が拡大している。そこで、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げる。

学修目標(=到達目標)

インターネットに関わるビジネスモデルを理解する。

内容	
1	ガイダンス
2	インターネットの歴史としくみ
3	情報通信産業の規制緩和と競争
4	スマートフォン
5	インターネットと広告
6	SNSと無料通話アプリ
7	検索サイトと広告
8	インターネットと政府
9	ビッグデータとビジネス
10	ポイントサービスとマーケティング
11	インターネットのショッピングサイト
12	仮想通貨
13	インターネットとセキュリティ
14	インターネットと法律
15	まとめ

評価

平常点(10%)、毎回の課題(30%)、最終レポート(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次週取り上げるテーマのサイト確認。

【事後学修】プリントやサイトで確認。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特にしていない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	社会調査法（量的調査）		
担当教員名	米崎 直樹、泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

理論・実践・演習

科目の概要

前期科目「調査と統計」で教授される内容を補強する目的で、確率論を基礎に、経験をうまく生かすための統計学として知られるベイズ統計学について教授する。

学修目標（＝到達目標）

ベイズ統計の基本的な考えかたについて、正しい解釈を身につける。またそれを実践的に応用するスキルを学ぶ。

内容

1	従来の統計学とベイズ統計学
2	確率論の基礎： 加法定理、乗法定理
3	条件付確率とベイズ統計学におけるその役割
4	ベイズの定理、展開公式、事前確率、事後確率、尤度
5	モンティ・ホール問題のベイズによる解釈
6	理由不十分の原理
7	ベイズ更新と逐次合理性
8	ナイーブベイズフィルター
9	確率変数とその確率密度関数の推定
10	正規分布とベイズ統計
11	自然な共役分布： 分布の場合
12	ベイズ流の推定・決定理論
13	推定値を求める損失関数を用いた期待損失最小化原理
14	経験情報に基づく判断：Map決定
15	まとめ：ベイズ的思考方の様々な応用

評価

総合的理解度評価を40%、毎回の小レポートの評価を60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の講義で理解出来ていないと思う部分について、質問事項を予め整理しておく。

【事後学修】講義内容をノートに整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】最初の講義で提示

【推薦書】【参考図書】最初の講義で紹介

科目名	社会調査法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

生活情報学科専門科目「Dビジネスで情報を生かす」の2年次配当選択科目である。社会調査法（量的調査）では統計調査の技法を学ぶのに対して、事例調査の技法を学ぶ。

科目の概要

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

学修目標

社会調査の中でも質的調査について、その基本概念と先行事例を学び、自ら質的調査を設計して実践する技術を習得する。

内容

1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイテ『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

評価

授業時の課題提出50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてある資料を予習する。

【事後学修】授業時の課題を仕上げて指定のフォルダに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【参考図書】

桜井 厚（2002）『インタビューの社会学』せりか書房。

桜井 厚訳（1983）W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』御茶の水書房。

中野 卓（1979）『口述の生活史』御茶の水書房。

寺谷弘士訳（1979）W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』垣内出版。

社会調査協会編（2014）『社会調査事典』丸善出版。

科目名	マーケティングリサーチ		
担当教員名	米崎 直樹、泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

理論・実践・演習

科目の概要

2年生前期科目「調査と統計」で教授される内容を発展させ実践的に応用する技法と最低限知っておくべきその基礎となる理論および、実践において注意すべき事項について教授する。

学修目標(=到達目標)

マーケティングとはなにかという理解、マーケティングのための技法の根拠となる理屈の理解、およびこれらの実践的な応用力を身に着ける。

内容

1	導入： マーケティングとは その視点
2	データとモデリング
3	統計的モデリングの基礎
4	状態遷移モデルによる市場反応モデル
5	ユーザルデータとマルコフ切換モデル
6	階層ベイズモデル
7	相関解析の基礎
8	回帰モデル
9	重回帰分析
10	クラスター分析
11	主成分分析
12	モンテカルロ法
13	クラスター分析
14	マルコフ連鎖モンテカルロ法
15	まとめ： マーケティングの意図と役割 データ分析の活用の意義

評価

総合的理解度評価を40%、毎回の小レポートの評価を60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】毎回の講義で理解できていなと思う部分について、質問事項をあらかじめ整理しておく。

【事後学修】講義内容をノートに整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。毎回講義資料を電子的に配布。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】必要に応じて、講義中に紹介する。

科目名	マーケティングリサーチ		
担当教員名	米崎 直樹、泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

理論・実践・演習

科目の概要

2年生前期科目「調査と統計」で教授される内容を発展させ実践的に応用する技法と最低限知っておくべきその基礎となる理論および、実践において注意すべき事項について教授する。

学修目標(=到達目標)

マーケティングとはなにかという理解、マーケティングのための技法の根拠となる理屈の理解、およびこれらの実践的な応用力を身に着ける。

内容

1	導入： マーケティングとは その視点
2	データとモデリング
3	統計的モデリングの基礎
4	状態遷移モデルによる市場反応モデル
5	ユーザルデータとマルコフ切換モデル
6	階層ベイズモデル
7	相関解析の基礎
8	回帰モデル
9	重回帰分析
10	クラスター分析
11	主成分分析
12	モンテカルロ法
13	クラスター分析
14	マルコフ連鎖モンテカルロ法
15	まとめ： マーケティングの意図と役割 データ分析の活用の意義

評価

総合的理解度評価を40%、毎回の小レポートの評価を60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】毎回の講義で理解できていなと思う部分について、質問事項をあらかじめ整理しておく。

【事後学修】講義内容をノートに整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。毎回講義資料を電子的に配布。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】必要に応じて、講義中に紹介する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (家庭)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス (授業の進め方、試験内容の紹介など)
2	文書の作成と管理 1
3	文書の作成と管理 2
4	文字、段落、セクションの書式設定 1
5	文字、段落、セクションの書式設定 2
6	表やリストの作成
7	参考資料の適用
8	オブジェクトの挿入と書式設定
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

評価

各回の提出課題 (60点) と模擬試験 (40点) により総合評価し60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学習】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

推薦書（著者名・書名・出版社名） 授業時に指示する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】FOM出版 「よくわかるMOS Word 2013 対策テキスト&問題集」

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (家庭)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス (授業の進め方、試験内容の紹介など)
2	文書の作成と管理 1
3	文書の作成と管理 2
4	文字、段落、セクションの書式設定 1
5	文字、段落、セクションの書式設定 2
6	表やリストの作成
7	参考資料の適用
8	オブジェクトの挿入と書式設定
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

評価

各回の提出課題 (60点) と模擬試験 (40点) により総合評価し60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（家庭）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標（=到達目標）

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容

1	ガイダンス（授業の進め方、試験内容の紹介など）
2	文書の作成と管理 1
3	文書の作成と管理 2
4	文字、段落、セクションの書式設定 1
5	文字、段落、セクションの書式設定 2
6	表やリストの作成
7	参考資料の適用
8	オブジェクトの挿入と書式設定
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

評価

各回の提出課題：60点、模擬試験：40点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ活用		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (家庭)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容

1	ガイダンス (授業の進め方、内容の紹介など)
2	ワークシートやブックの作成と管理 (1)
3	ワークシートやブックの作成と管理 (2)
4	セルやセル範囲の作成 (1)
5	セルやセル範囲の作成 (2)
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 (1)
9	グラフやオブジェクトの作成 (2)
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ活用		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (家庭)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容

1	ガイダンス (授業の進め方、内容の紹介など)
2	ワークシートやブックの作成と管理 (1)
3	ワークシートやブックの作成と管理 (2)
4	セルやセル範囲の作成 (1)
5	セルやセル範囲の作成 (2)
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 (1)
9	グラフやオブジェクトの作成 (2)
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ活用		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (家庭)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容

1	ガイダンス (授業の進め方、内容の紹介など)
2	ワークシートやブックの作成と管理 (1)
3	ワークシートやブックの作成と管理 (2)
4	セルやセル範囲の作成 (1)
5	セルやセル範囲の作成 (2)
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 (1)
9	グラフやオブジェクトの作成 (2)
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	ビジネスデータ活用基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の考え方を習得する

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとして、VBA(Visual Basic for Applications)を学ぶことにより、頻繁に使う機能を表計算ソフトに登録し、必要な時にそれを呼び出し実行できるマクロ機能について理解する。VBAの実習問題に取り組むことにより、初心者がプログラミング言語の基礎的な構文、文法に慣れることができる。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

記録マクロを登録することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロを登録することができる。

内容	
1	表計算ソフト Excelの復習 関数テクニック 1
2	表計算ソフト Excel の復習 関数テクニック 2
3	表計算ソフトExcel の復習 関数テクニック 3
4	VBAの基礎
5	マクロの記録と修正 (マクロボタン作成、セルの色分け)
6	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 1
7	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 2
8	応用問題 演習
9	コマンドボタン、スピンの作成
10	テキストボックス、チェックボックスの利用、
11	リストボックス、コンボボックス、スクロールバー、とグルボタンの作成
12	さまざまなコントロールマクロの応用演習 1
13	さまざまなコントロールマクロの応用演習 2
14	総合演習
15	まとめ

評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の次回行るところを簡単に読み、次回の話題を把握しておく。

【事後学修】 毎回出される課題を仕上げるとともに、新しい話題は何なのか把握し、教科書のどこに書いてあるかを把握する。応用問題を行うときに、自分で教科書を見て解くことができるようにしておくことにより、その時に学習内容を定着させることができる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】30時間でマスター Excel 2007 VBA 実教出版

科目名	ビジネスデータ活用基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の考え方を習得する

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとして、VBA(Visual Basic for Applications)を学ぶことにより、頻繁に使う機能を表計算ソフトに登録し、必要な時にそれを呼び出し実行できるマクロ機能について理解する。VBAの実習問題に取り組むことにより、初心者がプログラミング言語の基礎的な構文、文法に慣れることができる。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

記録マクロに登録することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロに登録することができる。

内容	
1	表計算ソフト Excelの復習 関数テクニック 1
2	表計算ソフト Excel の復習 関数テクニック 2
3	表計算ソフトExcel の復習 関数テクニック 3
4	VBAの基礎
5	マクロの記録と修正 (マクロボタン作成、セルの色分け)
6	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 1
7	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 2
8	応用問題 演習
9	コマンドボタン、スピントタン、ラベルの作成
10	テキストボックス、チェックボックスの利用、
11	リストボックス、コンボボックス、スクロールバー、とグルボタンの作成
12	さまざまなコントロールマクロの応用演習 1
13	さまざまなコントロールマクロの応用演習 2
14	総合演習
15	まとめ

評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題を把握しておく。

【事後学修】 毎回出される課題を仕上げるとともに、新しい話題は何なのか把握し、教科書のどこに書いてあるかを把握する。応用問題を行うときに、自分で教科書を見て解くことができるようにしておくことにより、その時に学習内容を定着させることができる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】30時間でマスター Excel 2007 VBA 実教出版

科目名	ビジネスデータ活用応用		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。「ビジネスデータ活用基礎」で表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の基礎を基に、その応用について学ぶ。

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとしてのVBA(Visual Basic for Applications)を用いた簡単なシステムの作成を行う。VBAの応用問題に取り組むことにより、マクロ言語を応用利用できるようにする。。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロを登録することができる。マクロ言語とExcelファイルを利用し、簡単なシステム開発ができるようにする。

内容

1	表計算ソフト ExcelのVBA復習 1
2	表計算ソフト Excel のVBA復習 2
3	表計算ソフトExcel のVBA復習 3 コントロールを利用したマクロ
4	簡単なシステムの作成 1 システムについての理解
5	簡単なシステムの作成 2 複数ブックからのデータ集計
6	簡単なシステムの作成 3 入力フォームの作成
7	簡単なシステムの作成 4 ピボットテーブルの利用
8	簡単なシステムの作成 5 印刷フォームの作成 メニューの作成 自動実行
9	応用問題 システムの作成
10	応用問題 システムの作成
11	応用問題 システムの作成
12	総合問題
13	総合問題
14	総合演習
15	まとめ

評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の次回行かうところを簡単に読み、次回の話題を把握しておく。

【事後学修】 毎回出される課題を仕上げるとともに、新しい話題は何なのか把握し、教科書のどこに書いてあるかを把握

する。応用問題を行うときに、自分で教科書を見て解くことができるようにしておくことにより、その時に学習内容を定着させることができる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】30時間でマスター Excel 2007 VBA 実教出版

科目名	新しいWebページ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： Webページ作成基礎，Webページ作成応用の内容を基礎として，JavaScriptと高度で便利な機能をまとめたJavaScriptライブラリであるjQueryを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける．JavaScriptとjQueryは，HTML，CSSで記述されたWebページに機能追加を行うことで動きのあるページを作成する．このため，HTML，CSSについて，他人の作ったものを理解，編集できることが前提となる．なお，JavaScriptの名称にJavaが含まれるが，プログラミング言語のJavaとはまったく別物である．

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryの二つを中心に学ぶ．JavaScript，jQueryともに，プログラミングの素養が必要である．教科書に沿って授業を進める．

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し，演習問題を学生が解く形式で進める．課題を毎回出題する．課題を自身で解くことにより，動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる．提出された課題により，成績評価を行う．

内容

1	オリエンテーション，環境準備，簡単なJavaScriptプログラムの作成
2	アラートボックス，確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数，四則演算
4	比較演算子，論理演算子
5	while
6	for，配列
7	連想配列，イベント
8	ID属性，if else，switch
9	関数，オブジェクト
10	Firebug，JavaScriptのオブジェクト指向
11	jQuery，クリックすると開くツールボックス
12	開閉できるツールボックス
13	ボタンをロールオーバーする
14	拡大画像をポップアップ表示する
15	複数画像のポップアップ，フォームの入力チェック

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書を事前に読み、必要な前提知識を復習しておくことで授業内容をよく理解することができる。

【事後学修】授業で行った課題で使った方法、内容をよく復習することが大事である。授業内容がプログラミングであるので、後になるほどそれまでに学習した内容を理解していることが前提となる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ。定価：本体2,480円＋税。教科書はあるほうがよいが、必須ではない。

科目名	新しいWebページ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： Webページ作成基礎，Webページ作成応用の内容を基礎として，JavaScriptと高度で便利な機能をまとめたJavaScriptライブラリであるjQueryを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける．JavaScriptとjQueryは，HTML，CSSで記述されたWebページに機能追加を行うことで動きのあるページを作成する．このため，HTML，CSSについて，他人の作ったものを理解，編集できることが前提となる．なお，JavaScriptの名称にJavaが含まれるが，プログラミング言語のJavaとはまったく別物である．

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryの二つを中心に学ぶ．JavaScript，jQueryともに，プログラミングの素養が必要である．教科書に沿って授業を進める．

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し，演習問題を学生が解く形式で進める．課題を毎回出題する．課題を自身で解くことにより，動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる．提出された課題により，成績評価を行う．

内容	
1	オリエンテーション，環境準備，簡単なJavaScriptプログラムの作成
2	アラートボックス，確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数，四則演算
4	比較演算子，論理演算子
5	while
6	for，配列
7	連想配列，イベント
8	ID属性，if else，switch
9	関数，オブジェクト
10	Firebug，JavaScriptのオブジェクト指向
11	jQuery，クリックすると開くツールボックス
12	開閉できるツールボックス
13	ボタンをロールオーバーする
14	拡大画像をポップアップ表示する
15	複数画像のポップアップ，フォームの入力チェック

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書を事前に読み、必要な前提知識を復習しておくことで授業内容をよく理解することができる。

【事後学修】授業で行った課題で使った方法、内容をよく復習することが大事である。授業内容がプログラミングであるので、後になるほどそれまでに学習した内容を理解していることが前提となる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ。定価：本体2,480円＋税。教科書はあるほうがよいが、必須ではない。

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	仁藤 潤		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、短編アニメーション制作に関心のある学生向けの内容である。

科目の概要

「プロット 絵コンテ 動画制作 ポスプロ（編集、サウンドデザイン） 上映」という映像制作のプロセスを学んでいく。

学修目標（=到達目標）

- ・短編アニメーション制作を1人で行えるようになる。

内容	
1	ガイダンス コンテについて
2	アニメーション基礎 グループ分け デジタル撮影基礎
3	制作 1
4	制作 2
5	制作 3
6	短編作品 発表会
7	最終課題 プロット作成
8	最終課題 コンテ作成
9	最終課題 コンテ作成
10	最終課題 制作 1
11	最終課題 制作 2
12	最終課題 中間発表会
13	最終課題 制作 3
14	最終課題 制作 4
15	最終課題 発表会 まとめ

評価

課題点：80% 授業に対する意欲・関心・態度：20%

総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】デジタル一眼レフカメラの操作に慣れておくことが望ましい。

Adobe Premiere Pro等の映像編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

サウンド編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

【事後学修】課題（プロット・コンテ作成）、作品制作をコツコツと計画的に進める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】授業時に指示する。

【参考図書】アニメーションの本 動く絵を描く基礎知識と作画の実際

科目名	アニメーション制作		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、アニメーション入門で学んだ内容を発展させ、応答性のあるアニメーションを作成していきます。スクリプトと呼ばれるアニメーションの動作を制御する小さなプログラムを組み込むことで、マウスやキーボードの操作によってアニメーションの動きをコントロールすることができます。

本科目の学修目標は、スクリプトを用いたアニメーションを自由に作成できるようになること、各種の画像素材や音楽データを利用したゲームを作成することにあります。

ゲームの作成には、アニメーション作成ソフトの理解だけでなく、ゲームそのものの動作の理解も必要です。

内容

1	オリエンテーション
2	復習 (その 1)
3	復習 (その 2)
4	スクリプトの入力方法
5	スクリプトの基本文法
6	関数とは
7	イベント処理 マウスイベント
8	イベント処理 ボタンイベント
9	イベント処理 タイマーイベント
10	イベント処理 キーボードイベント
11	ゲーム作成 ゲームの構造
12	ゲーム作成 素材の準備
13	ゲーム作成 スクリプトの記述 1
14	ゲーム作成 スクリプトの記述 2
15	まとめ

評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 前回授業内容の確認

【事後学修】 課題作成と提出

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	デジタルビデオ編集		
担当教員名	村上 博泰		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

「だれでも、どこでも簡単にビデオ編集」という性格の授業なので、特にほかの学科を受講する必要はありませんが、グラフィックス関連科目の授業を受けていると親しみやすいこともあります。

科目の概要

ハードウェア・ソフトウェアの基盤技術の進歩とともに、デジタルビデオ画像はコンピュータで編集することが容易になり、テレビで視聴されるだけでなく、インターネット上で配信されたり、プレゼンテーションでの利用や教育用のショートコンテンツとしても利用できるようになりました。本科目では、家庭のビデオ作品の編集だけでなく、研究発表等様々な場面で使用するビデオ画像を自由に編集できるように学修していきます。

学修目標 (= 到達目標)

様々な素材利用方法、ビデオ画像の編集機能、ビデオ画像の出力方法を学修します。ソフトウェアを自由に使いこなすために、ビデオ画像の基礎技術用語を理解できるようにします。(演習授業ですが、必然的に説明も多くなります。)

内容

1	デジタルビデオ編集とは
2	デジタルビデオ画像の説明、授業・演習の進め方 (ビデオ編集特有の制限) と簡単な編集
3	DV画像キャプチャの説明とストーリーボード機能およびWindowsLiveムービーメーカーの説明
4	基本的なタイムライン編集 1
5	基本的なタイムライン編集 2
6	基本的なタイムライン編集 3
7	シーンの切り替え機能 (トランジション) とムービー出力
8	ビデオエフェクトとキーフレームを使用したエフェクトのアニメート化
9	タイトルの作成方法 (テキストのクロール、ロール、静止)
10	スーパーインポーズと合成
11	素材を使った自由課題
12	教育用素材の編集と補足事項 (トラックマットキーの使用)
13	ムービー出力とプレゼンテーションへのビデオ画像の組み込み
14	最終編集課題
15	まとめと補足 (アルファチャンネルつきビデオの説明など)

評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】各回ごとの授業資料に目を通す程度。

【事後学修】疑問点があれば、メールなどで質問する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない、必要に応じてファイルを配布する。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】特に指定しない。

科目名	デジタルビデオ編集		
担当教員名	村上 博泰		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

「だれでも、どこでも簡単にビデオ編集」という性格の授業なので、特にほかの学科を受講する必要ありませんが、グラフィックス関連科目の授業を受けていると親しみやすいこともあります。

科目の概要

ハードウェア・ソフトウェアの基盤技術の進歩とともに、デジタルビデオ画像はコンピュータで編集することが容易になり、テレビで視聴されるだけでなく、インターネット上で配信されたり、プレゼンテーションでの利用や教育用のショートコンテンツとしても利用できるようになりました。本科目では、家庭のビデオ作品の編集だけでなく、研究発表等様々な場面で使用するビデオ画像を自由に編集できるように学修していきます。

学修目標 (= 到達目標)

様々な素材利用方法、ビデオ画像の編集機能、ビデオ画像の出力方法を学修します。ソフトウェアを自由に使いこなすために、ビデオ画像の基礎技術用語を理解できるようにします。(演習授業ですが、説明も多くなります。)

内容

1	デジタルビデオ編集とは
2	デジタルビデオ画像の説明、授業・演習の進め方 (ビデオ編集特有の制限) と簡単な編集
3	DV画像キャプチャの説明とストーリーボード機能およびWindowsLiveムービーメーカーの説明
4	基本的なタイムライン編集 1
5	基本的なタイムライン編集 2
6	基本的なタイムライン編集 3
7	シーンの切り替え機能 (トランジション) とムービー出力
8	ビデオエフェクトとキーフレームを使用したエフェクトのアニメート化
9	タイトルの作成方法 (テキストのクロール、ロール、静止)
10	スーパーインポーズと合成
11	素材を使った自由課題
12	教育用素材の編集と補足事項 (トラックマットキーの使用)
13	ムービー出力とプレゼンテーションへのビデオ画像の組み込み
14	最終編集課題
15	まとめと補足 (アルファチャンネルつきビデオの説明など)

評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】各回ごとの授業資料に目を通す程度。

【事後学修】疑問点があれば、メールなどで質問する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない、必要に応じてファイルを配布する。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】特に指定しない。

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 (音声) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではCubase Elements 6を導入し、最新のDAW (デジタル・オーディオ・ワークステーション) の世界を体験的に学習します。

科目の概要

- 1.DTM (デスクトップ・ミュージック) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。
- 2.MIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。

MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作
という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標

- 1.規制楽曲の楽譜をもとにMIDI入力をつかった音楽制作を学ぶ
- 2.MIDI入力したデータをオーディオに変換し、オーディオミックスダウンを実践する
- 3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
- 4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品の制作を体験する

内容

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

1	ガイダンス、スタートアップ
2	MIDI レコーディングとエディット(1)～ステップ入力～キーエディタ
3	MIDI レコーディングとエディット(2)～ステップ入力～キーエディタ
4	MIDI レコーディングとエディット(3)～ステップ入力～スコアエディタ
5	MIDI レコーディングとエディット(4)～リアルタイム入力
6	MIDI レコーディングとエディット(5)～ドラム入力
7	MIDI レコーディングとエディット(6)～ドラム入力
8	MIDI レコーディングとエディット(7)～スコア課題
9	MIDI レコーディングとエディット(8)～スコア課題
10	ミックスダウン MIDIデータのオーディオ化
11	オーディオループ素材～オーディオループ素材を使って楽曲を作る
12	創作演習(1)～創作を含むより高度な演習課題
13	創作演習(2)～創作を含むより高度な演習課題
14	創作演習(3)～創作を含むより高度な演習課題 ミックスダウン

評価

平常点60% 提出物40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】特に必要ありません

【事後学修】特に必要ありません

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

web上のテキストをダウンロードして使用します。

推薦図書（必須ではない）

・ 書籍（ガイドブック）

「Cubase Series 徹底操作ガイド」 株式会社 リットーミュージック

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 (音声) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではCubase Elements 6を導入し、最新のDAW (デジタル・オーディオ・ワークステーション) の世界を体験的に学習します。

科目の概要

- 1.DTM (デスクトップ・ミュージック) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。
- 2.MIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。

MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作
という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標

- 1.規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作を学ぶ
- 2.MIDI入力したデータをオーディオに変換し、オーディオミックスダウンを実践する
- 3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
- 4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品の制作を体験する

内容

- 第1回 ガイダンス、スタートアップ
- 第2回 MIDI レコーディングとエディット(1)～ステップ入力～キーエディタ
- 第3回 MIDI レコーディングとエディット(2)～ステップ入力～キーエディタ
- 第4回 MIDI レコーディングとエディット(3)～ステップ入力～スコアエディタ
- 第5回 MIDI レコーディングとエディット(4)～リアルタイム入力
- 第6回 MIDI レコーディングとエディット(5)～ドラム入力
- 第7回 MIDI レコーディングとエディット(6)～ドラム入力
- 第8回 MIDI レコーディングとエディット(7)～スコア課題
- 第9回 MIDI レコーディングとエディット(8)～スコア課題
- 第10回 ミックスダウン MIDIデータのオーディオ化
- 第11回 オーディオループ素材～オーディオループ素材を使って楽曲を作る
- 第12回 創作演習(1)～創作を含むより高度な演習課題
- 第13回 創作演習(2)～創作を含むより高度な演習課題
- 第14回 創作演習(3)～創作を含むより高度な演習課題 ミックスダウン
- 第15回 Windows Media Playerを使ったCDライティング

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

評価

平常点60% 提出物40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】特に必要ありません

【事後学修】特に必要ありません

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

web上のテキストをダウンロードして使用します。

推薦図書（必須ではない）

・ 書籍（ガイドブック）

「Cubase Series 徹底操作ガイド」 株式会社 リットーミュージック

科目名	デジタル色彩		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使用したデザインやCG、Web制作が増える中、一般的な色彩理論に加えデジタル上での色彩の違いを認識して表現する事が必要となってきました。そのためコンピュータで扱うデジタル画像やデジタル色彩、配色の基礎知識を学習する授業です。

色彩の基礎からデジタル色彩の基礎、デジタル画像の基礎知識を学習し、配色トレーニングを実践します。

色彩の基礎および配色の理解を目的とします。

内容

12色以上の色鉛筆、のり、はさみ等が必要になります。カラーチャートはこちらで準備します。

上記が必要な場合、授業内でアナウンスします。

進具合により内容を変更する場合があります。

1	ガイダンス、色彩とその役割
2	色の基礎特性
3	デジタル画像の基礎
4	色のデジタル表現とその役割
5	色彩の法的規制、流行色
6	カラーリサーチの理論と手法、配色演習基礎
7	色彩生理学と色の意味、トーンの意味、配色演習基礎
8	カラーイメージチャートの仕組み、色のイメージ、配色演習基礎
9	様々な配色の技法、配色演習基礎
10	配色トレーニング (イメージ、喜怒哀楽)
11	配色トレーニング (意思を伴う感情) (五感)
12	SD法による色彩計画、配色トレーニング (SD法による簡易イメージカラー)
13	環境と建築の色彩、環境色彩学、配色トレーニング (景観のカラー表現)
14	色彩とアナロジー、配色トレーニング (面分割のカラー表現)
15	まとめ

評価

演習課題(30%)、コメントシート(10%)、期末試験(45%)、授業態度(15%)により総合的に判断し、60点以上で合格とします。

指定 (色鉛筆やカラーチャート) 以外での演習課題は評価しません。

授業外学習

【事前予習】 次回の関連事項を確認し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】資料を良く読み復習することで、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントを配布します。

色鉛筆やカラーチャートに関しては、第1回目の授業で指示します。

科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、デジタルアニメーション演習やWeb動画演習をこのあと学修します。

今日の社会でコンピュータグラフィックス (C G) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、C G 技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したC G 作成方法やC G 合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

内容	
1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画1 (グリッドとガイドの利用)
8	精密な描画2 (ビットマップ画像の利用)
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 (色調補正・フィルターなど)
13	ウェブページデザインワークフロー 1
14	ウェブページデザインワークフロー 2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、デジタルアニメーション演習やWeb動画演習をこのあと学修します。

今日の社会でコンピュータグラフィックス (C G) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、C G 技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したC G 作成方法やC G 合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

内容	
1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画1 (グリッドとガイドの利用)
8	精密な描画2 (ビットマップ画像の利用)
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 (色調補正・フィルターなど)
13	ウェブページデザインワークフロー 1
14	ウェブページデザインワークフロー 2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	住居デザイン		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は3次元CGの応用を学んでいく科目です。今日の社会で3次元CG技術は、製造業や建築業界をはじめとしてあらゆる分野で活用され必要不可欠な技術の一つとなっています。

身近な「家」をテーマに外観や間取り、内装や家具の配置、さらに照明器具の設置など1軒の家をコンピュータの中で作り上げていきます。この過程の中で、3DCG画像の作成と加工、編集等についての応用を学んでいきます。また、単に画像の作成だけではなく、考えながら3D画像を作り上げることの重要性を修得することが学修目標となります。

内容	
1	家づくりの基本操作
2	間取りを考える (1)
3	間取りを考える (2)
4	カメラ操作
5	内装の設定
6	家具の配置
7	照明器具の設置
8	屋根の作成
9	内装をアレンジ
10	外装の設定
11	レンダリング
12	インテリアとエクステリア
13	照明効果
14	作品制作 (1)
15	作品制作 (2)

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前回授業内容の確認
- 【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	住居デザイン		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は3次元CGの応用を学んでいく科目です。今日の社会で3次元CG技術は、製造業や建築業界をはじめとしてあらゆる分野で活用され必要不可欠な技術の一つとなっています。

身近な「家」をテーマに外観や間取り、内装や家具の配置、さらに照明器具の設置など1軒の家をコンピュータの中で作り上げていきます。この過程の中で、3DCG画像の作成と加工、編集等についての応用を学んでいきます。また、単に画像の作成だけではなく、考えながら3D画像を作り上げることの重要性を修得することが学修目標となります。

内容	
1	家づくりの基本操作
2	間取りを考える (1)
3	間取りを考える (2)
4	カメラ操作
5	内装の設定
6	家具の配置
7	照明器具の設置
8	屋根の作成
9	内装をアレンジ
10	外装の設定
11	レンダリング
12	インテリアとエクステリア
13	照明効果
14	作品制作 (1)
15	作品制作 (2)

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】 前回授業内容の確認
- 【事後学修】 課題作成と提出

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 (テーブルの作成)
4	Access によるデータベースの作成演習 (複数テーブルの作成)
5	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
6	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
7	Access によるデータベースの作成演習 (フォーム、レポートの作成)
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 (和演算、差演算、積演算、商演算)
10	リレーショナル代数 (選択演算、射影演算、結合演算)
11	DBMS (正規化)
12	DBMS (整合性)
13	DBMS (排他制御)
14	DBMS (障害回復)
15	まとめ

評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 (40点) と総合課題 (30点) とテストまたはレポート (30点) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2013基礎 FOM出版

科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 (テーブルの作成)
4	Access によるデータベースの作成演習 (複数テーブルの作成)
5	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
6	Access によるデータベースの作成演習 (クエリ処理)
7	Access によるデータベースの作成演習 (フォーム、レポートの作成)
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 (和演算、差演算、積演算、商演算)
10	リレーショナル代数 (選択演算、射影演算、結合演算)
11	DBMS (正規化)
12	DBMS (整合性)
13	DBMS (排他制御)
14	DBMS (障害回復)
15	まとめ

評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 (40点) と総合課題 (30点) とテストまたはレポート (30点) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2013基礎 FOM出版

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

前期に学んだデータベース入門に続く授業であり、データベースに関する一連の授業でネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

情報システムを構成する主要な技術にデータベース管理システムがある。この授業では、実際にデータベースにデータを入力したり、検索したりするためのデータベースプログラミングについて実習を中心に行う。

データベース管理にはSQLという言語を利用し、SQLの学習とともに、ネットワークを介したデータベースについての操作についても学ぶ。

SQL言語を通して、データベースプログラミングの基礎を理解する。

内容

1	データベースとは
2	リレーショナルデータベースの復習
3	リレーショナルデータベースとSQL言語の基礎
4	クエリーの基本操作
5	いろいろな関数 1
6	いろいろな関数 2
7	テーブル作成の基本操作
8	まとめ 1 応用課題
9	複雑なクエリーの操作 1
10	複雑なクエリーの操作 2
11	データを守る仕組み 1
12	データを守る仕組み 2
13	応用課題
14	応用課題
15	まとめ 2

評価

毎回の授業の課題50%とまとめの課題50%で評価し、60%以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題は何なのか把握しておく

【事後学修】毎回出される課題を仕上げるとともに、新しく出てきた項目についてどこを見ればわかるか把握しておく。応用課題を行うときに、自分で教科書を見ながら行えるようにしておく。応用課題をしているときに、授業で行ってきたことが身につくようになる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

データベースがみるみるわかる9つの扉 SQLの絵本 （株）アंक著 SHOEISHA

科目名	ネットワーク基礎		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットの基盤技術であるTCP/IPネットワークに関する基礎的で技術的な知識を学ぶ。ネットワークにコンピュータを接続して通信を行うときに使われる技術を中心に学ぶ。3年前期開講の「ネットワーク設定」の前提となる知識を学ぶ。

インターネットの接続技術を中心に学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ の「インターネットの仕組みと関連技術」「インターネット接続の設定とトラブル対処」「Webブラウザとメールクライアントの設定と使いこなし」に相当する内容と難易度である。

授業の内容を理解するとともに、理解を助けるために授業時間内および時間外に行う形式の問題を解くことにより、単位修得可能な知識を身につけることができる。

内容

- 第1回：ネットワークとは
- 第2回：通信プロトコル，OSI参照モデル
- 第3回：IPアドレスとサブネットマスク
- 第4回：サブネット分割，ネットワークアドレス，ブロードキャストアドレス
- 第5回：ネットワーク層
- 第6回：トランスポート層
- 第7回：LANの技術，無線LAN
- 第8回：ルーティング
- 第9回：サーバ，WWW，DNS
- 第10回：アプリケーション関連技術 メール，HTTP，HTML
- 第11回：インターネット接続の技術 ファイアウォール，FTP，NTP
- 第12回：IPv6
- 第13回：インターネットへの接続
- 第14回：ブロードバンドルータ
- 第15回：まとめ

評価

複数回行う試験の結果を総合的に評価する。合格点は60点以上である。再試験を行うことがある。

授業外学習

【事前予習】推薦書やインターネット等を利用して、予習を行う。

【事後学修】授業内容の復習を行う。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書:

「インターネット検定ドットコムマスター アドバンス公式テキスト」, NTTコミュニケーションズ . 3400円 (税別) .

推薦書:

金城俊哉著, 「世界でいちばん簡単なネットワークのe本」, 秀和システム . 定価1,300円 (税別) .

竹下隆史, 村山公保, 荒井透, 苅田幸雄著, 「マスタリングTCP/IP入門編第5版」, オーム社 . 2,200円 (税別) .

科目名	インターネットとセキュリティ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだインターネットにおける情報セキュリティについて学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ のシラバスのうち「セキュリティ」, 「サービスの利用と法律に関する知識」をカバーする。2年前期の「ネットワーク基礎」を受講済みであることが望ましい。

情報セキュリティの3つの要素, すなわち, 脅威, 脅威に対抗するための基盤技術である暗号技術と公開鍵暗号基盤, 脅威からネットワークや通信を守るための対策技術について学ぶ。

次の内容を理解することにより試験に合格し, 単位修得が可能となる。

- ・情報セキュリティの考え方
- ・脅威の種類と内容
- ・暗号技術と使い方
- ・セキュリティ対策技術
- ・セキュリティに関する標準化動向と法律

内容

第1回：セキュリティとは何か

第2回：暗号技術とPKI (1) 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式

第3回：暗号技術とPKI (2) ハッシュ関数, 電子署名, PKI

第4回：暗号技術とPKI (3) セキュリティプロトコル

第5回：PC利用時の脅威とその対策

第6回：LAN利用時の脅威とその対策

第7回：インターネット利用時の脅威とその対策 (1) 脅威の種類

第8回：インターネット利用時の脅威とその対策 (2) Web

第9回：インターネット利用時の脅威とその対策 (3) メール

第10回：インターネット上のサービス

第11回：情報交換や発信に関する知識 SNS, ブログ

第12回：インターネット利用に関するマナー Web, メール, オンラインショップ

第13回：インターネットに関する知識と法律 プライバシ, 通信関連法, 著作権,

第14回：インターネットとセキュリティに関する問題演習

第15回：まとめ

評価

中間試験40%, 期末試験60%の割合で評価する。60点以上を合格とする。わずかな点数不足で合格点に満たない場合には, 再試験を行うことがある。

授業外学習

【事前予習】教科書の予習を行う。

【事後学修】教科書の復習を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書

インターネット検定ドットコムマスタ アドバンス 公式テキスト NTTコミュニケーションズ 税抜3400円

推薦書

相戸浩志著「図解入門 よくわかる 最新 情報セキュリティの基本と仕組み [第3版]」秀和システム。

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットにパソコンを接続して、利用する技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておく、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットにパソコンを接続して、利用する技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておくこと、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	サーバ設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目では、代表的なオペレーティングシステムの一つであるLinux (UNIX系OS) について、その機能・操作方法を学ぶ。さらに、応用としてLinux上でのサーバ設定技術を学ぶ。Linuxの操作は、ほとんどすべてがテキストによるコマンド操作である。サーバ設定は、一般利用者が行うことは前提としておらず、マウスとウィンドウ操作で可能なことは少ない。将来ソフトウェア開発に携わる場合、サーバとして使われることが多いLinuxを操作できることは役に立つであろう。

科目の概要

Linuxの特徴、ディレクトリ・ファイル操作等の基本コマンド、便利な機能、もっとも身近でよく利用されているWebサーバ、メールサーバの構築を行う。

学修目標

演習を通して、コマンドによる基本操作、サーバ構築の基本概念を理解できるようになることを目指す。

内容	
1	UNIX (Linux) の概要, ディレクトリ構造, MS-DOSコマンド
2	ログイン・ログアウト, パスワード設定, ユーザ・グループ管理
3	ディレクトリ・ファイルの操作
4	アクセス権
5	viエディタによるファイルの編集
6	ファイルの内容表示
7	リダイレクト・パイプ処理, テキストの並べ替え・検索
8	コマンドの履歴, エイリアス
9	Linuxにおけるネットワーク管理
10	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ管理
11	SSL/TLSを使ったftpの暗号化
12	Webサーバ構築
13	Webサーバのセキュリティ強化 認証と暗号化
14	メールサーバ構築 SMTP, POP3, IMAP
15	メールサーバのセキュリティ強化 SMTP-AUTH

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、全課題の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前の回までに学んだコマンド等を自分で使えるようにする。

【事後学修】コマンドやサーバ構築法について、応用することができるようにする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使わない。

科目名	サーバ設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目では、代表的なオペレーティングシステムの一つであるLinux (UNIX系OS) について、その機能・操作方法を学ぶ。さらに、応用としてLinux上でのサーバ設定技術を学ぶ。Linuxの操作は、ほとんどすべてがテキストによるコマンド操作である。サーバ設定は、一般利用者が行うことは前提としておらず、マウスとウィンドウ操作で可能なことは少ない。将来ソフトウェア開発に携わる場合、サーバとして使われることが多いLinuxを操作できることは役に立つであろう。

科目の概要

Linuxの特徴、ディレクトリ・ファイル操作等の基本コマンド、便利な機能、もっとも身近でよく利用されているWebサーバ、メールサーバの構築を行う。

学修目標

演習を通して、コマンドによる基本操作、サーバ構築の基本概念を理解できるようになることを目指す。

内容	
1	UNIX (Linux) の概要, ディレクトリ構造, MS-DOSコマンド
2	ログイン・ログアウト, パスワード設定, ユーザ・グループ管理
3	ディレクトリ・ファイルの操作
4	アクセス権
5	viエディタによるファイルの編集
6	ファイルの内容表示
7	リダイレクト・パイプ処理, テキストの並べ替え・検索
8	コマンドの履歴, エイリアス
9	Linuxにおけるネットワーク管理
10	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ管理
11	SSL/TLSを使ったftpの暗号化
12	Webサーバ構築
13	Webサーバのセキュリティ強化 認証と暗号化
14	メールサーバ構築 SMTP, POP3, IMAP
15	メールサーバのセキュリティ強化 SMTP-AUTH, STARTTLS

評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、全課題の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前の回までに学んだコマンド等を自分で使えるようにする。

【事後学修】コマンドやサーバ構築法について、応用することができるようにする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使わない。

科目名	情報数学		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

ソフトウェア基礎で学んだ内容を振り返りながら、情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学や効率化手法の基礎について学ぶ。

科目の概要

コンピュータの仕組みを理解し効率的に活用する上で役立つ、オペレーションズリサーチの手法や基数法、基数変換、集合、ブール代数、論理演算、論理回路等について学び、問題演習を通してその定着を図る。

学修目標(=到達目標)

配布するプリントには講義内容を理解するための[例題]、理解度を確認するための[練習問題]、理解を深め応用力を養う[自習問題]の3種類の問題を用意している。講義を聞くだけでなくこれらの問題を実際に解くことにより、理解を深めることを目指す。

内容	
1	集合
2	場合の数と順列・組合せ
3	ブール代数
4	カルノー図
5	論理回路
6	演習
7	加算回路とその他の論理演算・論理回路
8	日程計画問題とPERT(1)
9	日程計画問題とPERT(2)
10	マルチプログラミングとガントチャート
11	線形計画問題とグラフ解法(1)
12	線形計画問題とグラフ解法(2)
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を評価として採用し、60点以上を合格とする。

- ・演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・総合演習 : 100%

授業外学習

【事前予習】ソフトウェア基礎等で取り上げられた関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるために自習問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	システム設計基礎		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

システム設計・開発の上流工程にあたるシステム企画、要求分析、システム設計、プログラム設計において、どのような方法・技法でどのような作業を行い、どのようなアウトプット (ドキュメント) を作成するかについて、実践的な演習を通じて学ぶ。

科目の概要

現在、システム設計・開発手法の主流はオブジェクト指向設計である。そして、そのオブジェクト指向設計に基づくドキュメントとして UML が用いられている。この UML の書き方、および書くための考え方、技法を学ぶ。

そして、実践的なシステムとして図書館システム、じゃんけんシステムを取り上げ、UML を用いて、要求分析からシステム設計、プログラム設計、プログラミングまでを行い完成させる。

学修目標

プログラミングの前段階のシステム企画から設計までの作業を体験し、システムの企画から始めて完成させるまでにどのような考え方・技法で作業を行い、どのようなドキュメントを作成するか習得する。

内容

1	システム設計基礎で何を学ぶか。オブジェクト指向の復習 1 クラス
2	オブジェクト指向の復習 2 継承・多態性
3	UML 1 クラス図 クラス
4	UML 2 クラス図 多重度
5	UML 3 クラス図 関係
6	UML 4 クラス図 関連クラス
7	UML 5 図書館システム 1 (アクティビティ図 ユースケース図)
8	UML 6 図書館システム 2 (システム記述)
9	UML 7 図書館システム 3 (クラス図)
10	UML 8 図書館システム 4 (シーケンス図)
11	UML 9 図書館システム 5 (プログラミング)
12	モデリング 1 じゃんけんシステム 1
13	モデリング 2 じゃんけんシステム 2
14	最終課題 1
15	最終課題 2

評価

各回に出題する演習課題に対する取組み姿勢、解答内容を 100 点満点で評価し、その平均点が 60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】各回配布する資料（パワーポイント）を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回の演習課題を完成させ、次回の授業前までに提出すること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料（パワーポイント）にて、学習内容、演習課題の説明を行う。

参考図書は、必要に応じて紹介する。

科目名	プログラミング初級		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目はプログラミング関連科目の基礎に続く応用として位置づけられ、基礎的なプログラミングで学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力に加えメソッド・クラスの基本を課題演習の繰り返しにより養う。

学修目標 (= 到達目標)

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

内容	
1	オリエンテーション
2	eclipse環境設定
3	eclipse使用方法練習
4	基本構文の確認 (if文、while文、do-while文)
5	基本構文の確認 (for文)、配列
6	配列の各種宣言方法、初期化
7	多次元配列、for文多重ループ
8	ソート・サーチ
9	文字列の処理、Stringのメソッド
10	クラスライブラリ
11	メソッドの基本
12	メソッドの引数・戻り値
13	メソッドの引数が配列の場合
14	クラス(補足)
15	最終課題

評価

課題点80点 平常点20点により評価を行うこととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング初級		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目はプログラミング関連科目の基礎に続く応用として位置づけられ、基礎的なプログラミングで学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力に加えメソッド・クラスの基本を課題演習の繰り返しにより養う。

学修目標 (= 到達目標)

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

内容	
1	オリエンテーション
2	eclipse環境設定
3	eclipse使用方法練習
4	基本構文の確認 (if文、while文、do-while文)
5	基本構文の確認 (for文)、配列
6	配列の各種宣言方法、初期化
7	多次元配列、for文多重ループ
8	ソート・サーチ
9	文字列の処理、Stringのメソッド
10	クラスライブラリ
11	メソッドの基本
12	メソッドの引数・戻り値
13	メソッドの引数が配列の場合
14	クラス(補足)
15	最終課題

評価

課題点80点 平常点20点により評価を行うこととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング中級		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

これまで学んできたJava言語科目プログラミング入門、プログラミング初級に続く科目である。本科目は単なるプログラム言語の学習から、システム開発を考えたプログラミングスキルの習得に入っていく。

科目の概要

本科目では、Java言語の最大の特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方について学ぶ。前半は、これまでのJavaの復習を兼ねクラス概念を学び、後半にオブジェクト指向について学ぶ。

学修目標（＝到達目標）

Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方を理解し、よい（分かりやすく、再利用しやすく、修正が容易な）プログラムを作成できるようになることを目指す。

内容	
1	オリエンテーション
2	メソッドの復習
3	クラスの復習
4	メソッドの多重定義
5	クラスのコンストラクタ
6	ライブラリの利用
7	プログラムの分割・管理
8	情報隠蔽
9	部品化
10	継承（派生と継承）
11	継承（派生とコンストラクタ）
12	多態性（抽象クラス）
13	多態性（抽象クラス）
14	多態性（インタフェース）
15	最終課題

評価

課題点80点 平常点20点により評価を行うこととし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】毎回出題するプログラミング課題等を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング上級		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目では、プログラミング入門、初級、中級で学んできた内容を総合的に活用する。

科目の概要

ゲームのプログラミングを通してJavaの特徴であるオブジェクト指向の概念・活用方法について理解を深めるとともに、規模の大きなプログラムを効率的に作成する力を身につける。

学修目標

基本構文を駆使し、必要な処理の流れを考えてオブジェクト指向のプログラムを作成する力の修得を目指す。

内容	
1	Javaの概要と開発環境
2	基本構文の復習
3	クラスの理解とJava APIの利用(1)
4	クラスの理解とJava APIの利用(2)
5	クラスの設計(1)
6	クラスの設計(2)
7	移動パターンの設計・作成(1)
8	移動パターンの設計・作成(2)
9	大量のキャラクターの処理(1)
10	大量のキャラクターの処理(2)
11	大量のキャラクターの処理(3)
12	大量のキャラクターの処理(4)
13	効果音の追加と仕上げ(1)
14	効果音の追加と仕上げ(2)
15	まとめ

評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を予習し、授業に備える。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

【テキスト】

大槻有一郎 『15歳からはじめるJAVAわくわくゲームプログラミング教室』 ラトルズ

【参考図書】

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ

科目名	ゲームプログラミング		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次のプログラミング入門以降、初級、中級、上級のプログラミング教育を踏まえ、総合的な学習を行う。

キー入力から複雑な処理、複数の表示更新等が複雑に関係するシステムをゲーム作成を通して学ぶ。

ゲームの作成を通して自分で考えたシステムを実現するためにアルゴリズム・データ構造の構築から、プログラミング・デバッグまでの一連の作業を行う。

内容

1	オリエンテーション
2	HSPの基礎知識 (表示位置設定、画像表示、メッセージ表示)
3	HSPの基礎知識 (変数、計算、判断、繰り返し)
4	HSPの基礎知識 (システム変数、配列、サブルーチン)
5	サンプルプログラム解説 (キー入力、背景画像との重ね合わせ)
6	キー入力・画像表示課題
7	サンプルプログラム解説 (動きのあるキャラクター、画像の回転)
8	様々なキャラクター表示課題
9	デバッガーの利用
10	ゲーム作成課題
11	効果音の利用
12	シューティングゲーム
13	RPGゲーム
14	ゲーム作成課題
15	まとめ

評価

平常点30点、課題点70点により評価することとし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書の次回授業部分を読んでおく。

【事後学修】授業中に紹介した機能等をさらに調べる。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	ゲームプログラミング		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次のプログラミング入門以降、初級、中級、上級のプログラミング教育を踏まえ、総合的な学習を行う。

キー入力から複雑な処理、複数の表示更新等が複雑に関係するシステムをゲーム作成を通して学ぶ。

ゲームの作成を通して自分で考えたシステムを実現するためにアルゴリズム・データ構造の構築から、プログラミング・デバッグまでの一連の作業を行う。

内容

1	オリエンテーション
2	HSPの基礎知識 (表示位置設定、画像表示、メッセージ表示)
3	HSPの基礎知識 (変数、計算、判断、繰り返し)
4	HSPの基礎知識 (システム変数、配列、サブルーチン)
5	サンプルプログラム解説 (キー入力、背景画像との重ね合わせ)
6	キー入力・画像表示課題
7	サンプルプログラム解説 (動きのあるキャラクター、画像の回転)
8	様々なキャラクター表示課題
9	デバッガーの利用
10	ゲーム作成課題
11	効果音の利用
12	シューティングゲーム
13	RPGゲーム
14	ゲーム作成課題
15	まとめ

評価

平常点30点、課題点70点により評価することとし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】教科書の次回授業部分を読んでおく。

【事後学修】授業中に紹介した機能等をさらに調べる。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	Webアプリケーション		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターネットの普及により、アプリケーションプログラムの実行形態は、Web ブラウザからサーバサイドのプログラムを起動し、その結果をWeb ブラウザに返すサーバサイドプログラムというWeb ベースのアプリケーションが主流になってきている。本科目では、サーバサイドプログラムの開発で最も使われているサーブレット・JSPを用いて、サーバサイドプログラムを構築する基礎技術を習得することを狙いとする。

科目の概要

サーブレット・JSPについて、「Hello」と表示するだけの簡単なプログラムの作成からはじまり、Javaの復習をしながら、条件分岐・繰り返しのあるプログラム、テーブルを表示するプログラム、データ入力を扱うプログラム、画面遷移・データの受け渡しを行うプログラムの作成へと進み、サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を学ぶ。

学修目標

サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を理解し、簡単なサーブレット・JSPプログラムが作成できるようにする。

内容

1	サーバサイドプログラミングとは
2	開発環境の準備とはじめてのサーブレット
3	日本語HTMLを表示するサーブレット
4	入力処理をするサーブレット
5	他のクラスを利用するサーブレット
6	はじめてのJSP
7	テーブルを表示するJSP
8	様々な入力フォーム
9	入力チェック
10	画面遷移
11	データの受け渡し リクエストスコープ
12	データの受け渡し セッションスコープ
13	データの受け渡し アプリケーションスコープ
14	最終演習課題
15	まとめ

評価

各回毎に、授業の理解度を評価する演習課題1と授業内容を発展応用し積極的に課題に取り組む姿勢を評価する演習課題2とを実施する。各回それぞれ50点満点で評価し、その合計点(100点満点)の平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】各回配布する資料（パワーポイント）を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回の演習課題 2 を完成させ、次回の授業前までに提出すること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】 宮本信二著「基礎からのサーバレット/JSP」 SoftBankCreative

必要に応じて、他の参考図書を紹介したり、資料（パワーポイント）にて説明する。

科目名	演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。

各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

内容

1. 地理情報システム (GIS)

GISとはデジタル地図と地域の属性情報データベースをコンピュータでリンクさせることによって地域特性を分析するためのツールである。具体的な分析テーマを設定してGIS操作の習得と地域分析の手法について学ぶ。

2. コンピュータグラフィックス

2Dまたは3Dの静止画像と動画の作成を基礎として、ゲームやマルチメディア教材の作成を行う。サンプルプログラムの内容理解から始めて、次第に機能の修正や追加を行い、オリジナル作成

へと進んでいく

3. ネットワークプログラミング

インターネット技術を中心に、サーバの構築やコンテンツ作成を行う。またDBプログラミングなど、応用システムの開発を行っていく。テキストに沿ってシステムの動作やプログラム作成手法を修得していく。

評価

日常の取り組み姿勢 (50%) と課題の進捗度 (50%) など点数化し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

とくに指定しない。必要な都度、授業の中で紹介していく。

科目名	演習		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

「生活情報ゼミ」の後に続く演習の授業で、演習、を通して、卒業研究を進める基礎を身につける。

世の中にあるデジタル関連作品、ソフトがどのようにできているかを理解するために、何らかのツールを使いソフトを作成する。作成する過程で、どのようなソフトを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。本授業では、グループのアニメーションやそのたのソフト作りを通して、ツールを使用するようにするだけでなく、ソフトウェア開発の各工程を体験してもらうための準備をする。

何らかのツールでソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」「議論する力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることを大切にする。

内容

アニメーションやホームページ作成、データベースやファイルにアクセスできるホームページ作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。次の項目の中から興味のあるものを中心に行う。

1. FLASH などのアニメーションツールの習得
2. Action Script 言語の習得
3. アニメーションの調査、企画、作成
4. 埼玉地域の昔話の絵本作成
5. 埼玉地域の高齢者の生活についてのデジタル表現について
6. ネットワークを介して、データベースにアクセスできるホームページの作成
6. 情報関連の資格取得の準備

また、アニメーションや上記のソフト作成に関連した各自興味ある課題をひとつ決めPower Point を用いて自分たちで調べたこと、考えたことを発表する。特に、調査したことについて、計算機で実験し、まとめ、発表し、討論することも重要視したい。

子供向けの教育ソフトや一般の絵本、ゲームだけでなく、埼玉地域の昔話や、高齢者の生活について、インタビューし、それをデジタル絵本などで、デジタル化する表現方法についても討論し、考えていく。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方、ショッピングサイトのしくみ、Cook Do 検索サイトのしくみ

評価

授業態度 (30点) と発表態度 (30点)、ゼミでの活動状況 (40点) を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】自分で関連ある書籍を探したり、読んだりする習慣を身に着けるようにしたい。

【事後学修】他の人の発表を聞いて、関連していることを調べたり、次の時間に質問したりすることを習慣づける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する。

科目名	演習		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- プレゼминаールで学習した内容を基礎にして、自主的な計画を立てて、演習、4年生の卒業研究につながる研究を行う。
- マルチメディアサービス、ゲーム、通信サービス、セキュリティサービス、などをテーマとして、学生が主体的にテーマ設定を行い、研究する手法を体得する。卒業研究に向けた準備として、作品制作等を行う。
- 計画的に学習を進め、定期的に進捗報告発表を行うことにより研究遂行能力を養うことができる。

内容

4年生の卒業研究に向けた準備を行う。具体的なテーマは学生の興味に合わせて決定する。設定したテーマについて、研究の目的と位置づけを明確にして、学生が主体的に進める形式で行う。設定するテーマの分野の例として、次のようなものがある。

- 1.スマートフォン
- 2.動画
- 3.ゲーム
- 4.その他のアプリケーションサービス

評価

定期的に行う進捗報告会での発表内容を100点満点で評価し、平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。
- 【事後学修】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目はプレゼミナルで得た知識・スキルを発展させ演習 ・卒業研究へと続く研究の基礎を固める授業である。

ゲーム作成ではゲームの基本的な設計を行い、作成していく。データ解析では、データの収集・入力から基本的な分析へと進む。

自分で建てた研究目標に向かって自分の研究工程を明確にし、それに沿って研究を進めていく。このことによって知識・スキルを深めるとともに自分で考え結果を出していく楽しさを体験することができる、また、就職後にも必須な計画の作成・遂行能力を身に付けることができる。

内容

1	オリエンテーション
2	各自研究分野の検討
3	各自研究分野の現状調査
4	各自研究分野の計画検討
5	各自研究分野の計画作成
6	研究計画発表会
7	研究計画発表会
8	研究計画に沿って実施
9	研究計画に沿って実施
10	研究計画に沿って実施
11	研究計画に沿って実施
12	研究計画に沿って実施
13	研究計画に沿って実施
14	研究成果報告会
15	研究成果報告会

評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行うこととし、総合評価 60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。

【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	演習		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

卒論作成に向けて経済学の基礎を学習する。

科目の概要

基礎的な文献や新聞雑誌などを輪読し、ディスカッションを通して相互理解を深める。

学修目標 (= 到達目標)

経済学について基礎的な知識を深め、討論できる能力の養成を図る。

内容

日本経済に関する基本的文献や新聞、雑誌等を通して、討論する。また、企業訪問などを通して、現実の経済に触れる。

評価

平常点や授業内討論 (50%)、演習でのプレゼンテーション (50%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】政治や経済の新聞、テレビなどの報道を調べる。

【事後学修】演習でのディスカッションを踏まえ、さらに詳しく調査する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業中に指示する。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科専門科目「ゼミ卒研」の3年次前期必修科目である。2年次後期の生活情報ゼミでの成果を踏まえ、3年次後期の演習へと発展させる。

科目の概要

社会調査や社会経済統計を使って生活者（個人や家族）の動向を把握している研究論文や学術図書を取り上げて輪読し、実証研究の方法を学習する。ついで、自らの関心領域の実証研究を調べ、研究史をまとめる。

学修目標

社会調査や社会経済統計から生活者（個人や家族）の動向を把握するゼミナールで、4年次に取り組む卒業研究のテーマ設定にむけて、参加学生の自らの関心領域を明確にする。

内容

4月から6月末までは、社会調査や社会経済統計を使って生活者（個人や家族）の動向を分析・考察している研究論文や学術図書を輪読する。テキストは、2年次後期の生活情報ゼミの成果をもとに、参加学生の関心に照らして選定する。

毎時間テキストの一部分を取り上げ、数人のレポーターが内容を報告し、参考文献等を紹介しながらコメントする。レポーター以外の者は問題点を指摘し、討論に参加する。

7月には、参加学生各自の関心領域について、実証的な先行研究の文献リストを作成し、学期末までに研究史をまとめる。これによって、4年次の卒業研究のテーマを絞り込む。

評価

授業中の発表や討議（50%）と学期末のレポート（50%）によって評価する。

授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表にむけて準備する。

【事後学修】授業時の討論の成果を整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書と推薦書は、参加学生の関心に照らして、授業時に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

プレゼミナールに続く卒業研究の準備段階の科目で、必要な知識や技術を身に付けるとともに、テーマについて検討する。

科目の概要

プレゼミナールで概要を学んだデータ解析・オペレーションズリサーチの代表的な手法の実践的な活用方法を演習を通して身に付ける。また、文献調査を通して卒業研究のテーマを検討する。

学修目標(=到達目標)

- ・ 目的に応じて必要な手法を選択できるようになる
- ・ 必要となるデータや結果の解釈について理解する
- ・ レポート作成を通して卒業研究を進めるプロセスを経験する
- ・ 卒業研究テーマ案を決める

内容

プレゼミナールで学んだ概要を振り返りながら、代表的な手法について詳細を学ぶとともに、演習を通して卒業研究と同じ以下のプロセスを経験し実践力を養う。

- ・ 仮説の設定
- ・ 仮説の検証方法と必要なデータの検討
- ・ データ収集
- ・ 仮説検証
- ・ 考察
- ・ レポート作成
- ・ 発表

また、卒業研究のテーマについて検討し発表する。

評価

課題・発表：70%、取り組み：30%とし、総合的評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】各手法の概要について復習しておく
- 【事後学修】課題を提出期限までに提出する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストの詳細については初回授業で指示する。

必要に応じて資料を配布する。

科目名	演習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

本科目は、3年生の演習 ・ 、4年生の卒業研究 ・ へむけての過程としての位置付けとなり、3・4年生でのゼミナール活動を行う際の基礎知識を身につけます。

科目の概要：

生活者・消費者としての法の世界との出会い、ビジネスパーソンとしての法律との関わりなどを学びます。

科目の目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」など身近なテーマを取り上げて法的な基礎知識を身につけます。

参加者は課題の予習を行い、それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

評価

授業中の発表 (30%) ・ 報告・議論への参加態度 (30%) 、 報告レジュメ作成・レポート (40%) により評価します。

授業外学習

【事前予習】課題の準備 (予習用資料に目を通す、レポート作成、報告レジュメの準備等)

【事後学修】課題の完成 (レポート・レジュメの加筆修正) および課題の発展

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	演習		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

4年次のゼミ活動研究に向けての応用力を育成します。

ゼミのメインテーマ (マーケティング、生活経済、ファッション) に関する知識および作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に制作する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

マーケティング理論の理解と商品開発に応用できる力を習得します。情報発信者として生活に関わる様々な問題を把握し、知識獲得とクリエイティブマインド育成も目標とします。

内容

4年次の卒業研究に向けて、各自でテーマを選択し発表・制作を行います。

課題について現状を調べ、問題点を抽出し、その問題点を解決する仮説を構築し、データを収集して検証を行っていきます。

地域連携として外部への作品提供、外部コンテストへのエントリーなど、プレゼンの機会が増えます。

評価

ゼミの取り組み姿勢・貢献度 (60%) とレポート提出 (40%) を総合して100点満点とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】ポートフォリオ作成 (作品集) のための準備を怠らない。

【事後学修】ポートフォリオ作成 (作品集) のための準備を怠らない。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、4年次の卒業研究、に向けてのファーストステップとして、簿記論等会計学関連科目の基礎知識を習得し、卒業研究等に関する基礎能力を育成する科目である。

科目の概要

前半は、簿記、会計、税務等、実務に直結する一般的な会計関連科目の幅広い基礎知識の習得を目指す。必要な会計関連科目の基礎知識習得後、各自与えられた課題を分析・検討して発表を行い、積極性、分析力、判断力等の育成の他、表現力等プレゼンテーションスキルの上達も試みる。後半は、ゼミの進捗状況により、企業の財務諸表分析、問題点の把握、ソリューションを導き出す能力の育成等、さらなるレベルアップも検討する。また希望者が多ければ日商簿記検定試験等の資格試験対策や模擬面接等の就職活動対策等も考慮する。

学修目標

1. 会計学、簿記論、税法等の科目について基礎知識を習得する。
2. 財務諸表を読み、企業の経営状況を把握する力を身につける。
3. 自ら調査・分析・研究し、卒業研究としてまとめることができる力を養成する。
4. 可能な範囲内での資格取得にチャレンジする。

内容

演習 の具体的内容は以下のとおりである。初回のオリエンテーションの後、前年度のプレゼミナールで修得した簿記および会計の基礎知識の確認を行い、各自半期の学修計画を策定する。演習 の前半ではプレゼミナールでの簿記、会計の知識を受けビジネスパーソンとしては避けることのできないIFRSや日本の税制の報告・検討を発表形式で行う。発表は課題のボリュームにより単独または、グループの場合がある。演習 の後半では税制の知識をさらに発展させ国際税務の初歩レベルを学修する。また、簿記、会計が中心のゼミのため、年度内のゼミ生全員の日商簿記検定試験3級の取得も目指す。

評価

課題発表 (30%)、レポート作成 (30%)、ディスカッション等ゼミ参画態度 (40%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前準備】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと
- 【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】テキスト等については、ゼミの進捗状況に応じ、授業内で指示する。また、必要に応じて適宜プリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学科専門科目の必修科目で3年生の前期演習クラス。

科目の概要

企業は社新しい技術や商品やサービスなどを通じて社会に価値を提供し、同時に私たちに働く場も提供してくれる。多くの学生が卒業後、就職するか或は何らかの形で企業との関連で働くことになることを想定し、企業の活動や経営についての基本的な知識と理解を身に付ける事を目的とする。毎回具体的な業界や実際の企業をテーマに選んで、ケーススタディを行い、調査と討議を通じて理解を深める。

学修目標 (= 到達目標)

企業の構成と活動の基本について、理論と実践を理解する。また将来の就職活動でも要求される、考察力、対話や文章による表現力も身に付ける。

内容

テーマに沿って、様々な業種の企業を文献やホームページ等を通じ事前調査と発表をもとに討議して理解を深める。また課外授業として実際の企業訪問も行い、職場の雰囲気を感じて、自分の頭で咀嚼して意見をまとめて表現し、議論をすすめていく。

評価

ゼミへの取組姿勢・貢献度 (60%) とレポート提出 (40%) を総合して100点満点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】毎回のテーマ毎に業界・企業情報をWebやホームページで情報入手し理解を深めておく
- 【事後学修】業界情報・ニュースやホームページでその後の展開をフォローする

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】特に指定しない。
- 【推薦書】会社四季報 業界地図 (東洋経済新報社)

科目名	演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。
各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

内容

1. 地理情報システム (GIS)

GISとはデジタル地図と地域の属性情報データベースをコンピュータでリンクさせることによって地域特性を分析するためのツールである。具体的な分析テーマを設定してGIS操作の習得と地域分析の手法について学ぶ。

2. コンピュータグラフィックス

2Dまたは3Dの静止画像と動画の作成を基礎として、ゲームやマルチメディア教材の作成を行う。サンプルプログラムの内容理解から始めて、次第に機能の修正や追加を行い、オリジナル作成へと進んでいく。

3. ネットワークプログラミング

インターネット技術を中心に、サーバの構築やコンテンツ作成を行う。またDBプログラミングなど、応用システムの開発を行っていく。テキストに沿ってシステムの動作やプログラム作成手法を修得していく。

評価

日常の取り組み姿勢 (50%) と課題の進捗度 (50%) など点数化し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	演習		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

プレゼミの後に続く演習の授業で、演習、を通して、卒業研究を進める基礎を身につける。

世の中にあるデジタル関連作品、ソフトがどのようにできているかを理解するために、何らかのツールを使いソフトを作成する。作成する過程で、どのようなソフトを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。本授業では、グループのアニメーションやそのたのソフト作りを通して、ツールを使用するようにするだけでなく、ソフトウェア開発の各工程を体験してもらうための準備をする。

何らかのツールでソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」「議論する力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることを大切にする。

内容

アニメーションやホームページ作成、データベースやファイルにアクセスできるホームページ作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。次の項目の中から興味のあるものを中心に行う。

- 1 . FLASH などのアニメーションツールの習得
- 2 . Action Script 言語の習得
- 3 . アニメーションの調査、企画、作成
- 4 . 埼玉地域の昔話の絵本作成
- 5 . 埼玉地域の高齢者の生活についてのデジタル表現について
- 6 . ネットワークを介して、データベースにアクセスできるホームページの作成
- 6 . 情報関連の資格取得の準備

また、アニメーションや上記のソフト作成に関連した各自興味ある課題をひとつ決めPower Point を用いて自分たちで調べたこと、考えたことを発表する。特に、調査したことについて、計算機で実験し、まとめ、発表し、討論することも重要視したい。

子供向けの教育ソフトや一般の絵本、ゲームだけでなく、埼玉地域の昔話や、高齢者の生活について、インタビューし、それをデジタル絵本などで、デジタル化する表現方法についても討論し、考えていく。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方、ショッピングサイトのしくみ、Cook Do 検索サイトのしくみ

評価

授業態度 (30点) と発表態度 (30点)、ゼミでの活動状況 (40点) を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】自分で関連ある書籍を探したり、読んだりする習慣を身に着けるようにしたい。

【事後学修】他の人の発表を聞いて、関連していることを調べたり、次の時間に質問したりすることを習慣づける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する。

科目名	演習		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

プレゼминаールで学習した内容を基礎にして、自主的な計画を立てて、4年生の卒業研究につながる研究を行う。

マルチメディアサービス、ゲーム、通信サービス、セキュリティサービス、などをテーマとして、学生が主体的にテーマ設定を行い、研究する手法を体得する。卒業研究に向けた準備として、作品制作等を行う。

計画的に学習を進め、定期的に進捗報告発表を行うことにより研究遂行能力を養うことができる。

内容

4年生の卒業研究に向けた準備を行う。具体的なテーマは学生の興味に合わせて決定する。設定したテーマについて、研究の目的と位置づけを明確にして、学生が主体的に進める形式で行う。設定するテーマの分野の例として、次のようなものがある。

1. スマートフォン
2. 動画
3. ゲーム
4. その他のアプリケーションサービス

評価

定期的に行う進捗報告会での発表内容を100点満点で評価し、平均点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。

【事後学修】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目はプレゼминаール・演習 で得た知識・スキルを発展させへと卒業研究へと研究を進めて行く授業である。

ゲーム作成ではゲームの作成・改良を行っていく。データ解析では、基礎的な解析結果から解析目標を絞り込み、より深く解析していく。

自分で建てた研究目標に向かって自分の研究工程を明確にし、必要があれば修正する。そして、研究計画に沿って研究を進め成果を出していく。このことによって知識・スキルを深めるとともに自分で考え結果を出していく楽しさを経験することができる、また、就職後にも必須な計画の作成・遂行能力を身に着けることができる。

内容

1	オリエンテーション
2	各自研究分野の再調査・再検討
3	各自研究分野の修正・変更
4	各自研究分野の計画再作成
5	研究計画発表会
6	研究計画発表会
7	研究計画に沿って実施
8	研究計画に沿って実施
9	研究計画に沿って実施
10	研究計画に沿って実施
11	研究計画に沿って実施
12	研究計画に沿って実施
13	研究計画に沿って実施
14	研究成果報告会
15	研究成果報告会

評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行うこととし、総合評価 60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。

【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	演習		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

演習 に続いて、卒業研究に向けて基礎的な経済学について学習する。

科目の概要

基礎的な文献と輪読し、共通理解を深める。また、東京証券取引所や日銀などを見学し、より学習を進めていく。

学修目標

経済学について基礎的な知識を身につけ、自分で考える力をつける。

内容

日本経済の基礎的な内容を学習する。特に、日本経済や経営に関する問題などを新聞、雑誌などを読みながら進めていく。また、日本銀行、東京証券取引所などを見学するなどして現実の経済の動きを身近に感じられるようにする。さらに、卒業研究のテーマを決め、研究を進めていく。

評価

ゼミでの発表(50%)。レポート作成(50%)とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】事前に新聞や雑誌などを読む。

【事後学修】授業中に議論した内容をさらに調べる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科専門科目「ゼミ卒研」の3年次後期必修科目である。3年次前期必修科目の「演習」の成果を発展させ、4年次に卒業研究に取り組むための準備となる。

科目の概要

3年次前期の演習で選定した参加学生各自の研究テーマについて、実証的にアプローチする方法を学ぶ。生活者（個人や家族）の動向を把握するための調査には、質的調査と量的調査とがある。各自の研究テーマに適した調査法によって、卒業研究に必要な一次資料を収集する。

学修目標

卒業研究で取り上げるテーマについて、研究の背景や目的を明確にし、研究を進めるうえで必要な資料を収集する技術を習得する。

内容

3年次前期の演習で選定した参加学生各自の研究テーマについて、実証的に研究するにはどのような調査法が適しているか検討する。社会調査の方法には、大きく分けて質的調査と量的調査とがある。質的調査には、ドキュメント分析、インタビュー、観察法がある。量的調査には、現地調査の他にも、データアーカイブを利用した個票データの二次利用が可能である。

まず、9月から10月にかけて、先行研究の調査法を検討しながら、各自のテーマに適した調査計画をたてる。11月から12月にかけて、調査計画にしたがってデータを収集し、学期末までに収集データを整理する。

評価

授業中の発表や討議50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表にむけて準備する。

【事後学修】授業時の討論の成果を整理する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書と推薦書は、参加学生の関心に照らして、授業時に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

プレゼミナール・演習 に続く卒業研究準備の最終段階の科目。

科目の概要

演習 で立案したテーマ案について検討を進め、決定する。また、研究計画を立て、卒業研究の準備を整える。

学修目標(=到達目標)

- ・背景・目的を明確にしたうえでテーマを決定する
- ・研究計画を立て、発表する

内容

プレゼミナール・演習 で学んだことを参考にしながら、資料・文献調査やプレゼンテーション・ディスカッションを通して、研究の背景や目的を明確にしたうえで、取り上げる問題に対する仮説を設定し、その検証方法や必要なデータについて検討する。必要となる手法についてはソフトウェアの利用方法も含めて確認しておく。期末に研究テーマ・計画について発表する。

評価

取り組み：40%、研究計画発表60%とし、総合的評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】ゼミ報告資料をまとめる
- 【事後学修】ゼミでのコメントをフォローする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

テキストの詳細については初回授業で指示する。

必要に応じて資料を配布する。

科目名	演習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

本科目は、法律をテーマとして取り扱い、各トピックを考察・検討するとともに調査方法を学びます。4年の卒業研究へむけての過程としての位置付けとなります。

科目の概要：

金融やその他企業の活動にかかわるビジネス法を、生活者・消費者的視点から、ビジネスパーソン視点から考察します。

契約を中心として私法の分野からのアプローチをしてゆきます。

文献購読、参加者による報告、ディスカッションを通じて、

法律とその背景や現在の社会をめぐる状況からその機能・限界を踏まえて展望について研究します。

学修目標：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」等を素材に研究を進めます。

指定の文献を事前に必ず読んでいることが全員に要求されます。

担当レポーターは制度・事案を整理してレジюмеを作成し報告します。

それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

後期は、通常の報告と同時並行して卒業研究のテーマ選び、卒業研究のテーマに関する研究・調査の

準備を行ないます。卒業研究の準備として、選択したテーマにつき、

後期終了時まで、各自ゼミ・レポートを作成します。

評価

授業中の発表 (30%) ・ 報告・議論への参加態度 (30%) 、 報告レジюме作成・レポート (40%) により評価し、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】課題の準備 (予習資料に目を通す、レポート作成、報告レジюме準備等)

【事後学修】課題の完成 (レポート・レジюмеの加筆修正) および課題の発展

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	演習		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業論文に向けての応用力を育成します。

ゼミのメインテーマ (マーケティング、生活経済、ファッション) に関する知識および作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画に情報収集する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

マーケティング理論の理解と商品開発に応用できる力を習得します。メディアリテラシー能力を向上させ、情報発信者として生活に関わる様々な問題を把握し、知識獲得とクリエイティブマインド育成も目標とします。

内容

卒業研究に向けて、各自でテーマを選択し発表・制作を行います。

卒業研究に向けて、グループまたは単独による中間発表がありますので、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

卒業論文作成を目標とする。

必要に応じて統計ソフトSPSSおよびエクセルでの集計作業も習得。

評価

ゼミの取り組み姿勢・貢献度 (40%) と卒論提出 (60%) を総合して100点満点とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】ポートフォリオ作成を怠らない。

【事後学修】ポートフォリオ作成を怠らない。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

演習 は、演習 に引き続き、企業の財務諸表分析や企業経営の考え方を会計、税務の両面から幅広く検討し、課題発表等を通じて考察力、分析力、さらには問題解決能力等を習得する科目である。また、演習 は、翌年の卒業研究へのステップとして位置付け、テーマ設定、研究計画等、卒業研究の準備も行う。

演習 に引き続き、会計学、税制の基礎力の確認を行い、会社の財務諸表分析や企業経営等を検討するが、可能であればさらに国際会計や国際税務戦略、よりレベルの高い資格試験対策等への発展的拡充を試みる。課題発表では、パワーポイント等のソフトウェアを利用して各自、選択可能なテーマの中から発表を行う。課題は会計学、税制の範囲に限らず、幅広い分野からのテーマ設定が可能である。課題発表では、プレゼンテーションやディスカッションを通してスピーディな資料の作成能力や発言力、ソフトウェアを利用した表現力、効果的な発表力等を身につける。

学修目標としては以下の4点をあげる。

1. 財務諸表の基礎的分析力、問題点の把握とその解決能力の習得。
2. 会計学、税制の基礎知識把握と発展的拡充。
3. 効果的なプレゼンテーション・スキルの向上。
4. 研究に関する基礎能力の育成。

内容

演習 の具体的内容は以下のとおりである。演習 は演習 の内容をさらに発展させ会計・税務の実務を想定したテーマを課題に取り組んでいく。課題の発表方法は演習 と同様にボリュームにより単独、グループの場合があるが、発表は既定のフォーマットを用いて全員で評価、ディスカッションを行う。ゼミの後半では次年度の卒業研究に向け、テーマ設定や論構成、執筆計画等の卒業研究執筆手順についても若干指導するが、次年度のゼミ生内定率100%を目指し、模擬面接やグループディスカッション等就職活動対策も予定している。また日商簿記検定試験2級・3級合格者で希望があれば1級・2級の試験対策、さらには税理士試験や公認会計士試験等の国家試験対策を行うことも可能である。

評価

課題発表 (30%)、レポート作成 (30%)、ディスカッション等ゼミナール参画態度 (40%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前準備】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと。
- 【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】テキスト等については、ゼミの進捗状況に応じ授業内で指示する。また必要に応じ適宜プリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学科専門科目の必修科目で3年生の後期演習。

科目の概要

企業は新しい技術や商品・サービスなどを通じて社会に価値を提供し、同時に私たちに働く場も提供してくれる。多くの学生が卒業後、就職するかあるいは何らかの形で企業との関連で働く事になることも想定し、企業の活動や経営についての基本的な理解と知識を身に付ける事を目的とする。毎回具体的な業界や実際の企業をテーマに選んで、ケーススタディを行い、調査と討議を通じて理解を深める。

学修目標 (= 到達目標)

企業の構成や活動の基本について、理論と実践を理解する。また将来の就職活動でも要求される、考察力、対話や文章による表現力も身に付ける。

内容

テーマにそって様々な業種の企業を文献やホームページを通じて事前調査と発表をもとに討議して理解を深める。また課外授業として、実際の企業訪問も行い、職場の雰囲気を感じて、自分の頭で咀嚼して意見をまとめて表現し、議論を進めていく。

評価

ゼミへの取組姿勢・貢献度 (60%) とレポート提出 (40%) 総合して100点満点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】毎回のテーマ毎に業界・企業情報をWebやホームページで情報入手し理解を深めておく
- 【事後学修】業界情報・ニュースやホームページでその後の展開をフォローする

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】特に指定しない。
- 【推薦書】会社四季報 業界地図 (東洋経済新報社)

科目名	卒業研究		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

各自の選択した分野で研究テーマを設定して作品の作成・開発を進めていく。

3年次の演習を基礎として、各自のテーマで研究を進める。

1. ゼミ担当教員の指導を受け、卒業研究テーマを設定する。
2. 研究の内容、方向性および進め方を検討する。
3. 進捗を自己管理し、進捗報告会、中間報告会、卒研発表会で成果をプレゼンテーションする。

内容

研究テーマの設定や研究スケジュールなどを教員と相談しながら決定し、研究に必要なデータ収集や調査、ツールや素材の作成などを進める。

さらに、具体的な作品を作成しながら、内容の検討やブラッシュアップを進めていく。

進捗報告会や中間報告会では、ゼミ担当教員からアドバイスを受けて追加修正作を行い、完成度を高める。

卒研発表会では研究成果をプレゼンテーションするとともに、全体をまとめたレポートを作成する。

評価

日常の取り組み姿勢 (10%)、進捗報告会 (10%)、中間報告会 (20%)、卒研発表会 (30%)、レポート (10%)、成果物 (20%) を点数化し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。授業の中で適宜指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

プレゼミ、演習、 に続く授業であり、卒業研究 と合わせて、卒業研究を進める。

卒業研究 では卒業制作の計画を立て、作品制作に取り掛かる。

3年生までのコンピュータに関して学んだことを総合的に理解し、調査、研究し、各自の考え方に基づきソフトウェアの作品制作を行う。ソフトウェア開発では、まず、どのようなソフトウェアを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。グループで作品を政策する過程で、ツールやプログラミング言語を使えるようにするだけでなく、ソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることも大切にする。

本授業では大学で学んだことの総括として、学んだこととアニメーションに関する知識を基に調査、研究、討論し、グループでの協調作業としてアニメーションを作成に取り掛かることができることを目標とする。

内容

まず、ソフトウェア開発のための準備をする。ゼミは基本的に、自分たちで調べたこと、考えたことを発言し、討論する場を多くする。次に、既存のさまざまなアニメーションソフトを使いソフトウェアの比較をし、利点、欠点など批評しあう。既存のゲームソフト、幼児、子供用の学習ソフトを使い、比較することにより、使った人が楽しめるソフト、使いやすいソフトはどのようなソフトか考える。

更に、グループでアニメーションソフトウェアを作る企画を行う。特にFLASH にはこだわらずさまざまなアニメーション作成ツールがあるので、目的にあったツールを使い、アニメーションを作成する。

グループに分かれ、自分たちでどのようなソフトを作るか討論して決め、卒業作品を作成する。

また、アニメーション作成時に体験した問題点を整理し、一般的なソフトウェア作成時の問題点として考えたときどのような問題と解決策があるか整理し、まとめて卒業論文を書くことが望ましい。

評価

発表態度(30 点)、ゼミでの活動状況(30%)、卒業作品(40%)を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】平常時から、各自の卒業研究課題に関連した書籍を読んだり関連したソフトを使ったりして、事前準備することが望ましい。

【事後学修】他の学生の卒業研究関連の発表を聞いたときは、関連した本を読んだり、関連した疑問を考え、次回に質問するよう各自、授業以外で学習することが望ましい。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業開始時に指定する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

演習 の研究内容を発展させ、自主的に進める。

学生が主体的に研究計画を立て、それに基づき各自のテーマに沿って研究を行い、最終的にその成果を卒業論文としてまとめる。これらの活動を通して、社会に出て必要とされる業務遂行能力を身につけることをねらいとする。

研究成果を卒業論文としてまとめ、発表することにより、研究遂行能力および社会で必要とされる業務推進手法を学ぶことができる。

内容

次の研究分野を参考に学生が主体的に設定したテーマに沿って、作品等の作成や調査研究を行い、卒業論文の執筆を行う。定期的に進捗報告発表を行う。

- 1.アプリケーションサービス
- 2.コミュニケーションサービス
- 3.セキュリティサービス

評価

定期的に行う進捗報告，卒論発表会での発表内容（50点）、卒業論文（50点）により評価する。

授業外学習

【事前予習】自分の研究計画に合わせて、事前予習を行う。

【事後学修】自分の研究計画に合わせて、事後学修を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Lクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

4年間の学習のまとめと学習成果の活用 演習において学んだ知識と技術を生かし、実際に調査を実施する。自らテーマ・仮説の設定を行い、調査対象を特定して、調査項目ならびに調査票を作成する。一方分析のための入力フォーマットを決定し、データ入力から分析、まとめにいたる一連のプロセスを遂行することにより、これまで学んできた知識を実践に生かす力を養う。

「データや観察に基づいた分析ができる」「分析結果を整理して、論文や図、表などの形で表現できる」「効果的でわかりやすい卒論の発表ができる」

内容

前期

- 1 卒業研究のテーマ確定
- 2 活動計画の作成
- 3 活動の実施 (調査、実践、社会活動等)

後期

- 4 活動の整理
- 5 データ分析、活動記録の作成
- 6 論文作成
- 7 発表資料・プレゼン作成
- 8 発表

評価

通常の活動状況、調査の実践状況、分析知識と技術等を総合して行う。

割合は活動状況30%、卒業論文50% プレゼンテーション20%とする。

総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】「調査と統計」「社会調査法」で学んだ統計知識の復習

「マーケティングリサーチ」で学んだ調査技法の復習

【事後学修】社会的な事象における調査分析のプロセスの確認 結果の検証法の復習

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

推薦書『よくわかる卒論・修論のための統計処理の選び方』鍵和田京子・石村貞夫著 (東京図書)

科目名	卒業研究		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目はプレゼミナル・演習 ・ 行った研究を完成させ、研究成果としてまとめ発表していく。

演習 の研究成果報告において発表した内容をもとに研究内容の修正・変更を行い、その内容に沿って研究をまとめている。

2年間にわたる研究の成果をまとめ・発表していくことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

内容

1 週	オリエンテーション
2 週	各自研究分野の再調査・再検討
3 週	各自研究分野の修正・変更
4 週	各自研究分野の計画再作成
5 ~ 6 週	研究計画発表会
7 ~ 1 3 週	研究計画に沿って実施
1 4 ~ 1 5 週	研究成果報告会
1 6 ~ 1 8 週	各自研究内容のまとめ
1 9 ~ 2 0 週	卒業論文資料作成
2 1 ~ 2 5 週	卒業論文作成
2 6 ~ 2 7 週	卒業論文発表会発表資料作成
2 8 週	卒業論文発表会予行
2 9 ~ 3 0 週	卒業論文発表会

評価

平常点 2 0 点、自分の研究内容理解及び、発表点 8 0 点により評価を行うこととし、総合評価 6 0 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。

【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

生活情報学科の専門必修科目である。

科目の概要

演習 に引き続いて、卒業論文の完成を目指し、さらにプレゼンテーション用の資料を作成する。

学修目標

卒業論文の完成を目指す。

内容

卒論の完成を目指す。アウトラインに基づいて執筆を始める。さらに発表でのコメント、教員の指導のもと修正を図りながら完成させる。

評価

卒業研究に対する積極的な準備と意欲的な態度（40点）及び、課題発表等の達成度（60点）を総合して判断し、評価を行う。60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】卒業論文の作成を行う。

【事後学修】授業での教員のコメントや他の学生の意見を参考に卒論作成を進める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】随時教室にて指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

生活情報学科専門科目の必修科目である。

科目の概要

2年次後期のプレゼミナール、3年次の演習 ・ 演習 を通じて絞られた個々の研究テーマについて、社会調査による実証データを収集・分析し、ゼミナールでの中間報告とグループディスカッションを通じて考察を深め、論理性のある研究論文を執筆する。

学修目標

自らの大学4年間の学修を総括する研究テーマについて、オリジナルなデータに基づいた考察を深める。客観的な論理に基づく新たな知見を提示し、残された課題を把握する。その成果を研究論文として仕上げる。

内容

卒業研究は、以下の手順によって進められる。1．研究テーマの設定、2．先行研究の検討、3．独自性・独創性のある理論の展開、4．まとめと今後の課題の提示。

参加学生は、ゼミナールにおいて卒業研究を中間報告し、グループディスカッションすることによって、各自の研究テーマについて理解を深める。担当教員は、個々の研究課題に対して理論や接近法を助言するとともに、研究論文（本文14,000字から20,000字）の執筆について技術指導する。

なお、近年の卒業論文のテーマには、以下のものがある。

- 「雑誌『an・an』の占い特集からみた若い女性の悩みの変化」
- 「チャペルウエディングの流行が意味するものは何か」
- 「専業主婦に対するイメージと現実のギャップ - 専業主婦と女子大生へのインタビューより - 」
- 「母乳育児と人工栄養の普及についての日中比較」
- 「即席麺の市場拡大とご当地カップ麺の投入」
- 「ソーシャルゲームをめぐるトラブルと安全規制 - 消費者保護の視点から - 」
- 「現代のスピリチュアル・ブーム - 癒し・スピリチュアル系商品・サービスの市場 - 」
- 「シェアハウスで暮らす - 新しい共同性のあり方 - 」
- 「日本における老舗の存続戦略 - 中国での応用可能性を問う - 」
- 「日本における中国人の地域定着過程 - 越谷市における中華料理店経営者の事例より - 」
- 「地域社会におけるJリーグの存在意義 浦和レッズの地域密着を事例として 」
- 「犬の殺処分と動物愛護運動 - 埼玉県における犬の殺処分半減の取組より - 」
- 「世界文化遺産登録と地域開発 - 富士山の世界文化遺産登録運動より - 」

評価

授業中の発表や討議を50点、卒業論文を50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表むけて準備する。

【事後学修】授業時の討論の成果をもとに研究論文を執筆する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参加学生個々の研究テーマに応じて、授業時に推薦書を紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

プレゼミナール・演習 ・ を受け、卒業研究を進める

科目の概要

各自の設定した研究テーマについて研究計画に基づいて卒業研究を進め、論文にまとめる

学修目標(=到達目標)

- ・ 卒業論文を完成させる
- ・ 卒業研究を進めるプロセスを通して実践的な問題解決能力を身につける

内容

研究計画に基づいてデータ収集とデータ解析・オペレーションズリサーチの手法による仮説の検証を行う。これらは報告・ディスカッションをしながら進め、研究計画は必要に応じて修正する。得られた結果について考察し、卒業論文にまとめる。

論文及びその要旨を提出し、その概要について発表する。

評価

論文・プレゼンテーション：80%+ 取り組み：20%とし、総合的評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】ゼミ報告資料をまとめる
- 【事後学修】ゼミでのコメントをフォローし、論文を執筆する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

テキストの詳細については初回授業で指示する
必要に応じて資料を配布する

科目名	卒業研究		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

演習 ・ で学んだことを基礎に、卒業研究としての論文作成作業を進め、最終的に論文を完成させます。

科目の概要：

金融やその他企業の活動にかかわるビジネス法等を、生活者・消費者の視点から、また、ビジネスパーソンの視点から考察します。契約を中心として、私法の分野からアプローチしてゆきます。文献収集、参加者による報告、論文執筆を通じて、法律とその背景や、現在の社会をめぐる状況を踏まえ、その機能・限界を理解したうえで、展望について検討します。

学習目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

内容

3年生時の研究テーマ、ゼミ・レポートを踏まえて、各自選択した卒業研究テーマの研究を進めます。前期にはテーマの確定、構想、文献調査を行い、後期にはそれをもとに卒業研究を論文の形に仕上げ作業を進めてゆきます。

評価

研究会での参加の状況（30%）、卒業研究の進捗状況・内容（70%）により総合的に評価します。100点満点の60点が単位取得の下限です。

授業外学習

【事前予習】卒業研究の完成へ向けて進めた作業をまとめる。自らの進捗状況を把握する。

【事後学修】授業時に指摘された個所についてさらに加筆修正し、課題を完成へ向けて作業を進める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

4年間の集大成として卒業研究を行います。

ゼミのメインテーマ (映像、グラフィックデザインなどの制作およびメディアリテラシー研究) から個人テーマを設定して作品制作または論文執筆を行います。

企画力、制作力、論文執筆能力を習得します。メディアリテラシー能力をさらに向上させ、情報発信者としてメディア表現の様々な手法とクリエイティブマインドを獲得します。

内容

4年間の集大成として卒業研究を行います。

各自でテーマを選択し制作および発表を行います。

特にデザイン系 (グラフィックデザイン)、映像系 (実写、写真、モーショングラフィックス、アニメーション) を重視します。

卒業研究の詳細は以下のどちらかを選択します。

1. 作品制作の場合、 作品 詳細を記した論文 (字数指定有り、フォーマット指定)
2. 論文の場合、 論文 (字数指定有り、フォーマット指定)

作品の場合の注意事項

- ・企画書・スケジュールおよびラフデザインの事前提出と審査が必須。
- ・写真集や絵本などは外部委託による製本を行うこと。(2冊以上)
- ・映像系はDVD-ROM化を行い、パッケージを作成すること。(2枚以上)
- ・グラフィック系の場合はA1パネル化または実寸によるポートフォリオ化または外部委託による実物作成を行うこと。(2点以上)

評価

研究計画書 <企画書、ラフデザインなど> (30%)、研究内容 <作品、論文> (50%)、研究発表会 (20%) などで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】企画立案、資料収集を怠らない。

【事後学修】計画を確認し、作品制作および論文執筆を怠らない。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

その都度指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

卒業研究は、演習 に引き続き、企業の財務諸表分析や企業経営の考え方を会計、税務の両面から幅広く検討し、必修である卒業研究論文を作成する科目である。

具体的には、演習 で学修した会计学、税制の基礎力の確認を行った後、各自の卒業研究テーマを確定し、研究作業に入る。進捗状況に応じた数回の卒業研究発表では、パワーポイント等のソフトウェアを利用して発表を行う。卒論テーマは会计学、税制の範囲に限らず、幅広い分野からのテーマ設定が可能である。発表におけるプレゼンテーションやディスカッションを通してスピーディな資料の作成能力や発言力、ソフトウェアを利用した表現力、効果的な発表力等を身につける。

学修目標としては以下の4点をあげる。

1. 早期卒論テーマの確定。
2. 基礎的分析力、問題点の把握とその解決能力の習得。
3. 研究に関する基礎能力の育成。
4. 効果的なプレゼンテーションスキルの向上。

内容

具体的な卒業研究の内容は以下のとおりである。初回はオリエンテーションを行うが、翌週からは各自1年間の卒業研究計画の策定、卒業研究論文の方法論の確認等を経てテーマ設定に入る。前期の卒業研究ゼミでは、卒論のメインテーマ、サブテーマ、章構成等の検討後、パワーポイント等のソフトを用いて進捗状況に応じ、各自数回の発表報告を行う。夏季休暇における合宿では、卒論のテーマ、構成等の最終的な報告会を行い、後期の本論文作成に備える。また前期では必要に応じて、日商簿記検定試験やFP等の資格試験対策、グループディスカッションや模擬面接等の就活対策等も行う。後期の卒業研究ゼミでは、前期の合宿による卒論の最終発表報告を受けて本論文の作成が中心となる。後期のオリエンテーション後、速やかに本論文の作成に入り、翌年1月末の卒業研究論文集の完成のため、12月中のファイナルドラフトの終了を目指す。

評価

卒論発表 (50%)、レポート・ホームワーク等の作成 (20%)、ディスカッション等ゼミナール参画態度 (30%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと

【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

資料・推薦書等については、ゼミの進捗状況に応じ授業内で指示する。また必要に応じ適宜プリントを配布する。